

# SC-S30650

# 操作ガイド

本書は、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。



\*412972700\*

## 商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、「EXCEED YOUR VISION」は、セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS X、Bonjour および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、米国 YouTube 社（YouTube,LLC）の商標または登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不恰当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

## インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

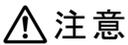


# マニュアルの見方

## マークの意味

### 安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

### 一般情報に関する表示

 <b>重要</b>	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 <b>参考</b>	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連する内容の参照先を示しています。
【プリンター設定】	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[ ]で囲んで示します。
【OK】 ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

## 掲載イラスト

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なる場合がございます。ご了承ください。

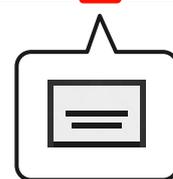
## 動画マニュアルについて

YouTube のエプソン動画マニュアル公式チャンネルに、本機の基本的な操作を紹介した動画をアップしています。ぜひご覧ください。

動画マニュアルは、以下の手順でご覧いただけます。

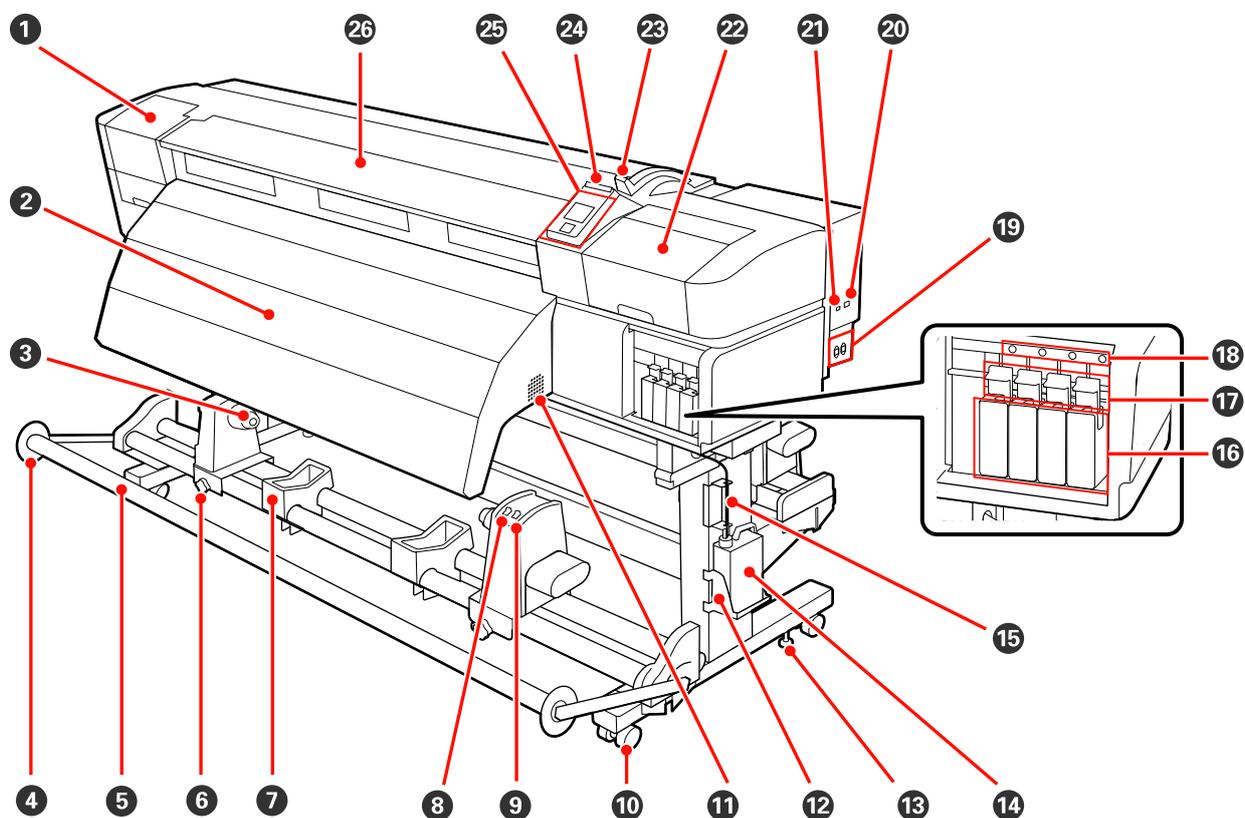
- 1 YouTube (<http://youtube.com>) へアクセスします。
- 2 画面上部の検索バーで、「Epson Video Manuals (LFP)」 と入力して実行します。
- 3 検索結果の【Epson Video Manuals (LFP)】 をクリックします。
- 4 お使いの機種の再生リストからご覧になる動画を選んで再生します。

なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。



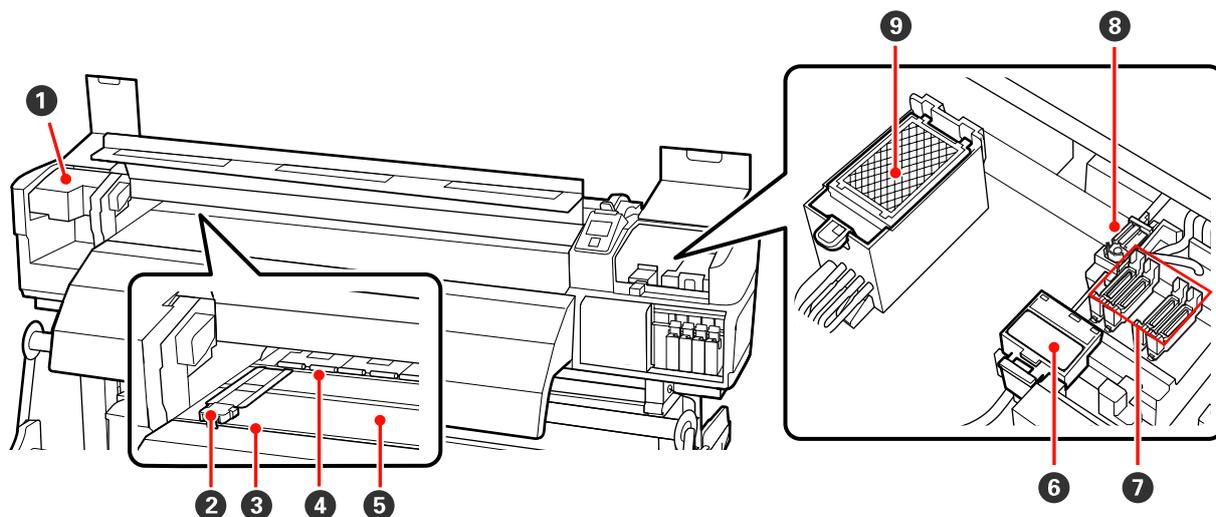
# 各部の名称

## 正面



- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| ① メンテナンスカバー (左) | ⑭ 廃インクボトル           |
| ② アフターヒーター      | ⑮ 廃インクチューブ          |
| ③ 紙管ホルダー        | ⑯ インクカートリッジ         |
| ④ テンショナーメディアガイド | ⑰ ロックレバー            |
| ⑤ テンショナー        | ⑱ カートリッジチェックランプ     |
| ⑥ 紙管ホルダー固定ネジ    | ⑲ 電源コネクタ#1/電源コネクタ#2 |
| ⑦ ロールサポート       | ⑳ LAN ポート           |
| ⑧ Auto スイッチ     | ㉑ USB ポート           |
| ⑨ Manual スイッチ   | ㉒ メンテナンスカバー (右)     |
| ⑩ キャスター         | ㉓ メディアセットレバー        |
| ⑪ 通風口           | ㉔ 大型アラートランプ         |
| ⑫ 廃インクボトルホルダー   | ㉕ 操作パネル             |
| ⑬ 固定具           | ㉖ 前面カバー             |

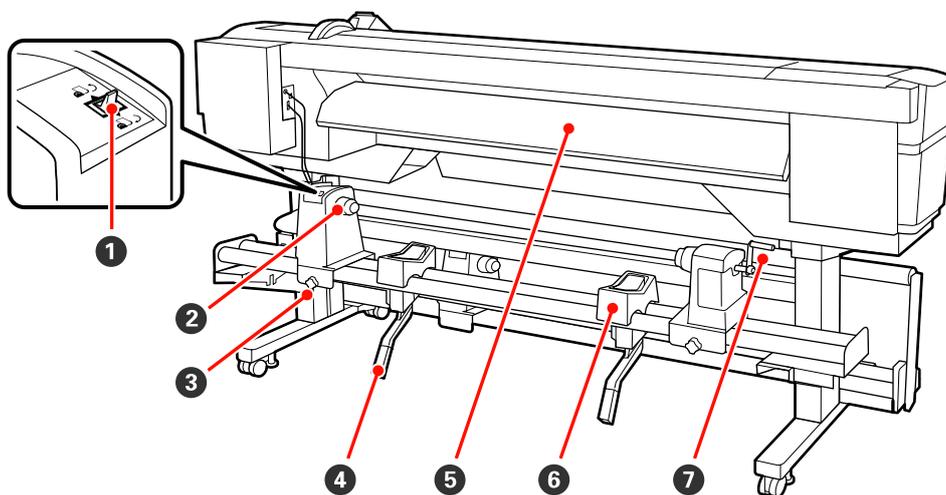
## 内部



- ① プリントヘッド
- ② メディア押さえ板
- ③ カッター溝
- ④ 加圧ローラー
- ⑤ プラテンヒーター

- ⑥ ワイパークリーナー
- ⑦ キャップ
- ⑧ ワイパー
- ⑨ フラッシング用吸収材

## 背面



- ① 駆動スイッチ
- ② ロールホルダー
- ③ ロールホルダー固定ネジ
- ④ リフトレバー

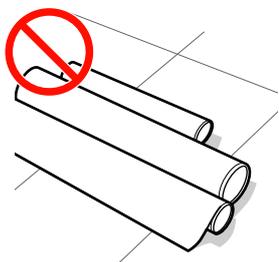
- ⑤ プリヒーター
- ⑥ ロールサポート
- ⑦ ハンドル

## 基本の操作

### メディア取扱時のご注意

以下の点を守らずにメディアを取り扱くと、メディア表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、印刷結果にインクのポタ落ちが生じる原因となります。

**むき出しのまま直接メディアを床に置かない。**  
メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



**衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。**

本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



### メディアセット時のご注意

#### ⚠ 注意

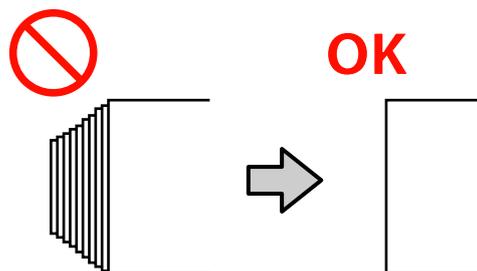
- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアは重いので、1人で運ばないでください。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

#### メディアは印刷直前にセットする。

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

#### 左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原因となります。端がそろるように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。



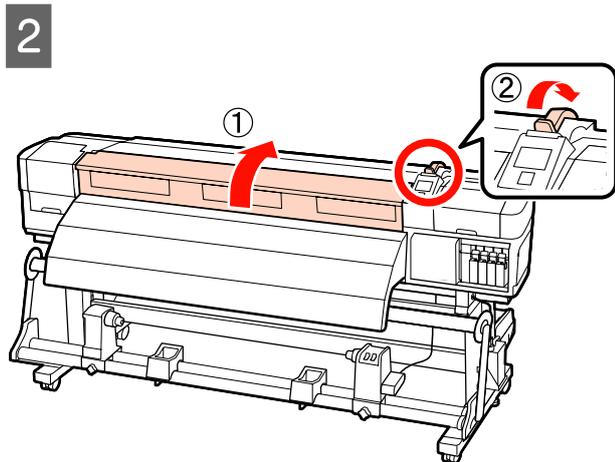
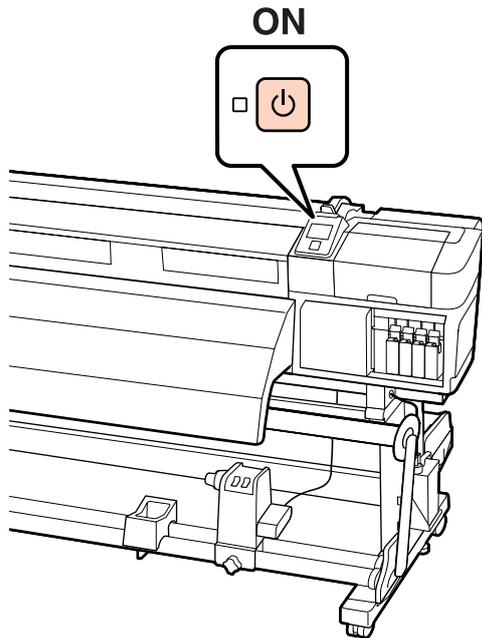
# メディアのセット方法

本機に標準メディア搬送ユニットが装着されているときのメディアのセット方法を説明します。

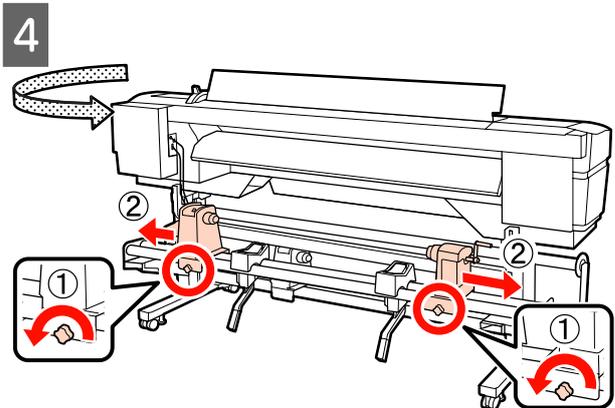
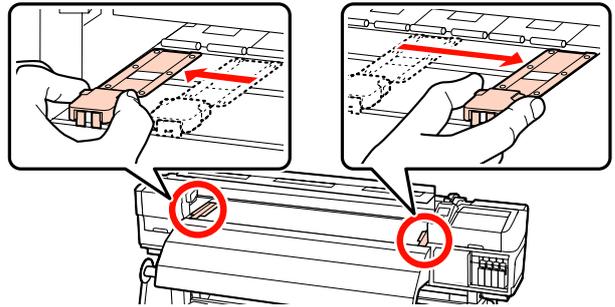
手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[📺 「動画マニュアルについて」 2 ページ](#)

- 1** 【】 ボタンを押して、画面に [メディアをセットしてください。] と表示されるまで待ちます。

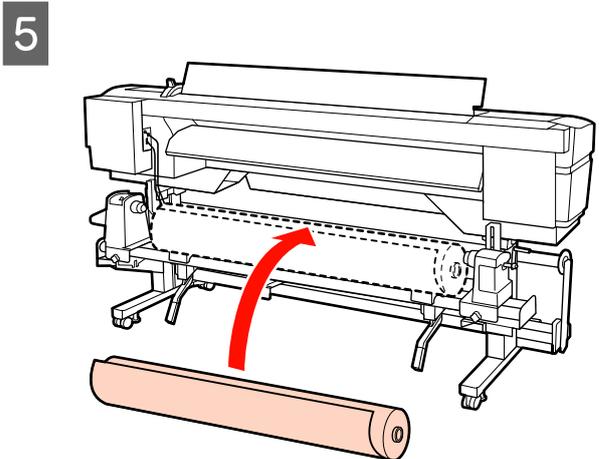
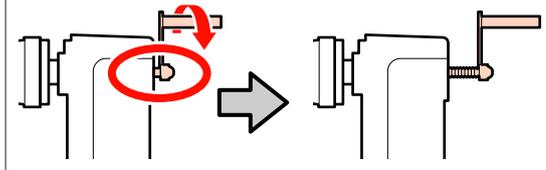


- 3** メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、プラテンの左右端へ退避させます。



**重要**

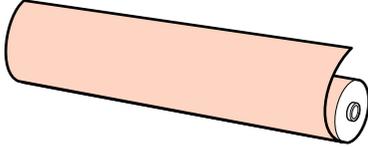
右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。



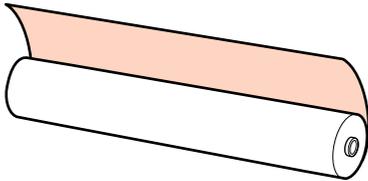
**参考**

メディアの巻き仕様により、ロールメディアの置き方が以下のように異なります。

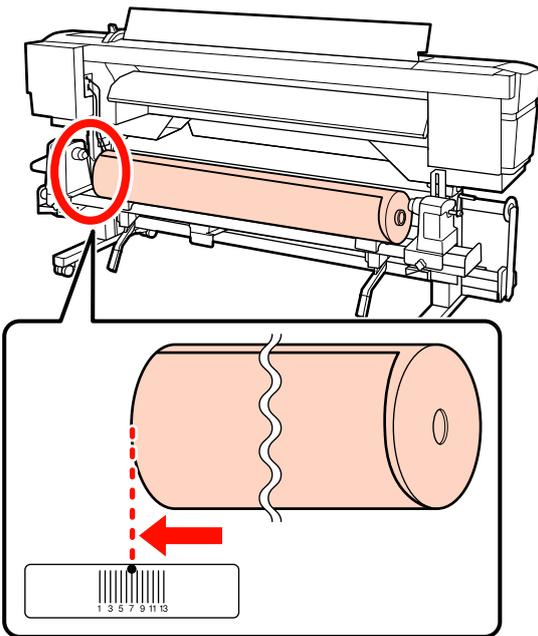
**印刷面外巻き**



**印刷面内巻き**



6



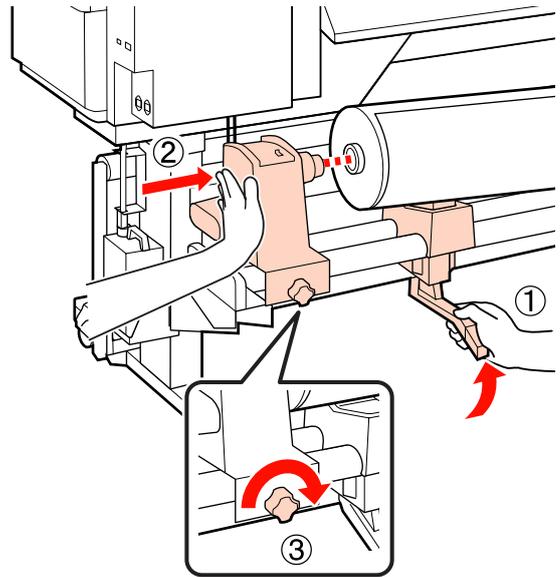
**参考**

ラベルにセット位置合わせの印が付いていないときは、別冊の『セットアップガイド』をご覧になり印を付けてください。

📄 『セットアップガイド』(冊子)

7

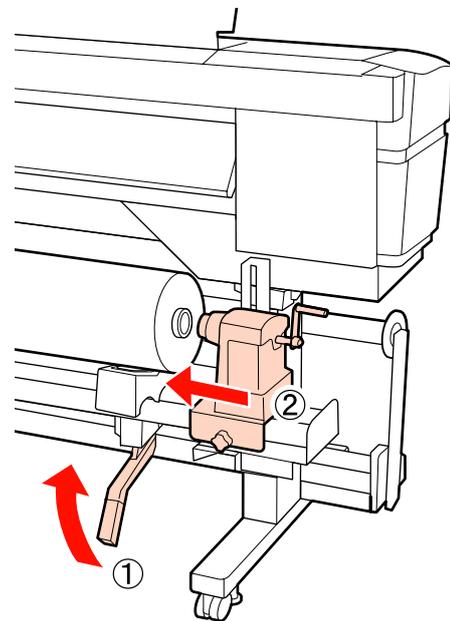
固定ネジは回らなくなるまできつく締めます。



**参考**

ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットするときは、手で抱え上げてロールホルダーにセットします。リフトレバーで持ち上げても紙管部分がロールホルダーに届きません。

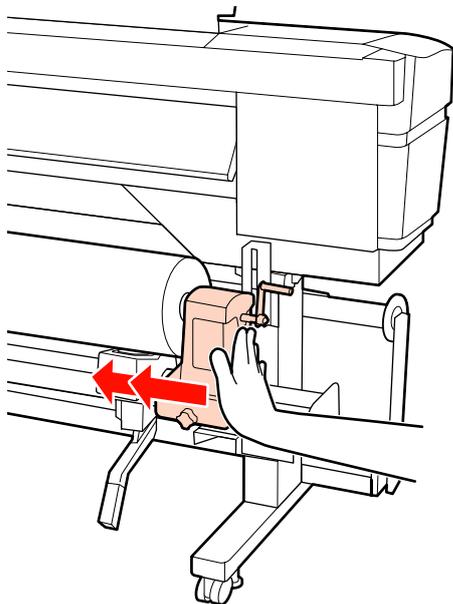
8



**参考**

ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットするときは、手で抱え上げてロールホルダーにセットします。

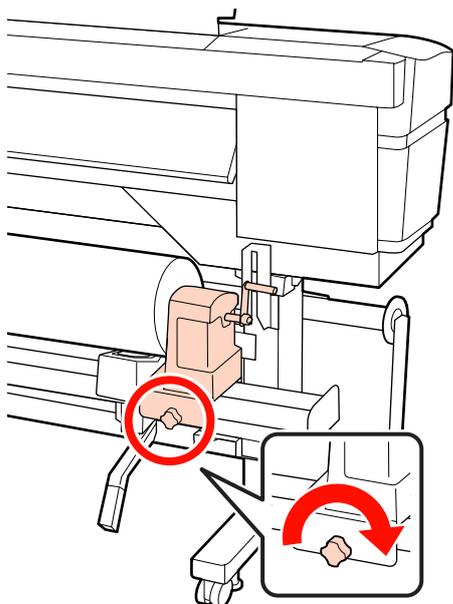
- 9 ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、2回押し付けます。



**！重要**

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア送りが正しく行えません。このため、印刷結果にバンディングが生じることがあります。

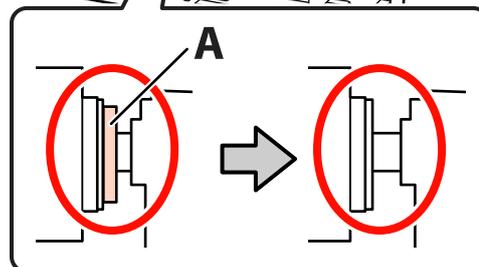
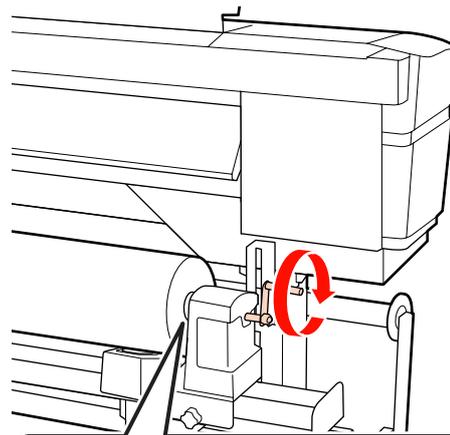
- 10



**！重要**

- ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロールホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷品質低下の原因となります。
- ロールの左右の端がそろっていないときは、そろえ直してください。

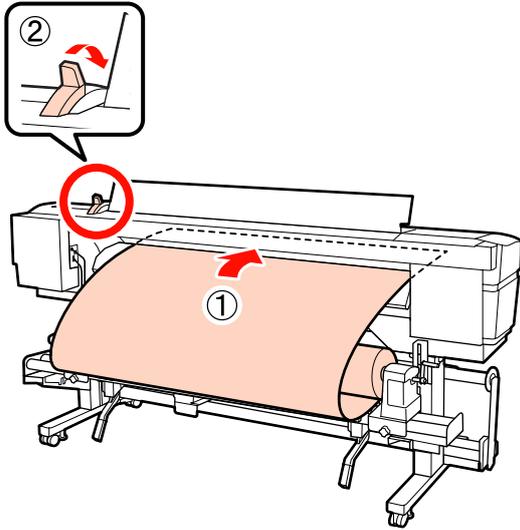
- 11 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。



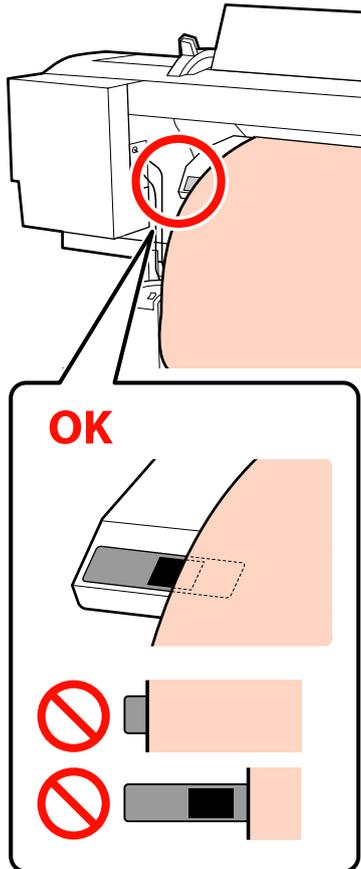
**！重要**

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロールホルダー固定ネジを緩めて、手順 8 からやり直してください。

- 12 メディアを挿入口から 30cm ほど挿入し、メディアアセットレバーを下げます。



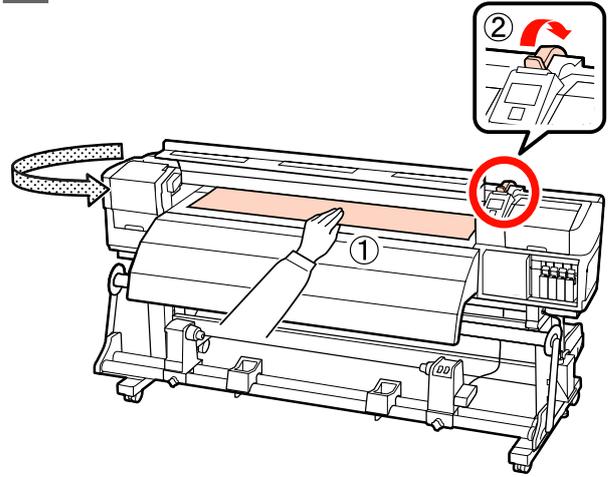
13



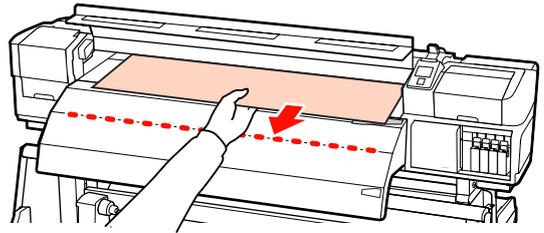
**!重要**

メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出しているときは、必ず手順 12 から逆順で手順 6 まで戻ってセットし直してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

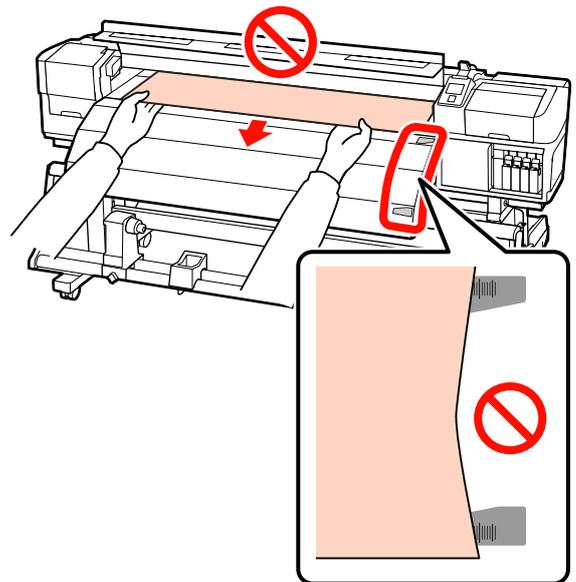
14



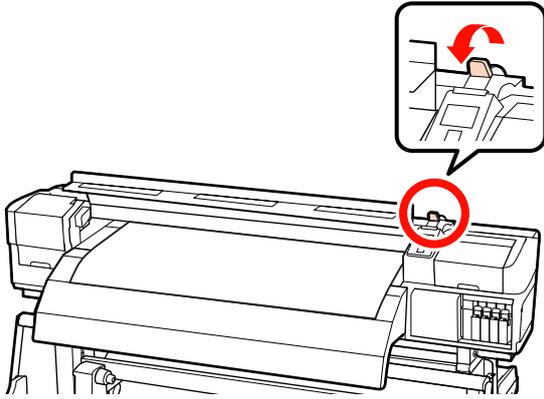
- 15 メディアの中央を片手で持って、アフターヒーターの中央付近までまっすぐに引き出します。



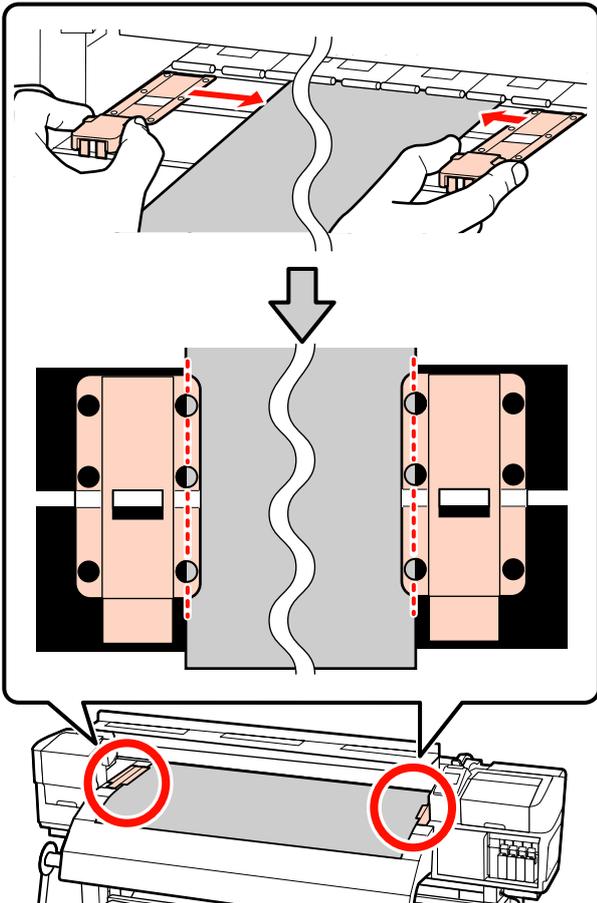
- メディアを両手で引き出さないでください。メディアが斜行・蛇行する原因となります。
- アフターヒーター上のラベルは、メディアセット時には使いません。無理に合わせるとメディアの蛇行やたるみの原因となります。



16



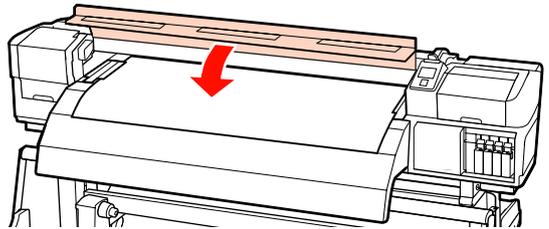
17 メディア押さえ板のつまみを両側から押さえたまま、メディア端の上まで移動します。メディア押さえ板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように合わせます。



**！重要**

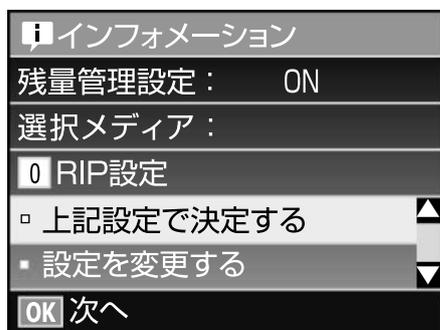
- メディアの厚さが0.4mm以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、破れたりするときはメディア押さえ板を使用しないでください。

18



## セットしたメディアに関する設定

メディアのセットが終了すると、操作パネルの画面が以下の表示になります。



この画面では、セットしたメディアに対して、以下の2点の確認と設定変更ができます。

### • 残量管理設定

[ON] : メディアの残量管理を行います。

[OFF] : メディアの残量管理は行いません。

[残量管理設定] を [ON] にしていると、設定したメディアの長さとおおよそのメディア残量が割り出され、操作パネルの画面に残量値が表示されます。印刷前に画面でおおよそのメディア残量が確認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなります。

また、設定した値にメディアの残量が達すると警告メッセージが表示されます。

### • 選択メディア

メディア設定が何に基づいて行われるかが、以下のように表示されます。

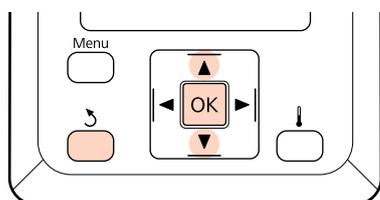
0 [RIP 設定] : RIP での設定に基づき印刷します。

1 [XXXXXXXXXXXXXXXXXX] : 本機に登録されている、設定番号 1 のメディア設定に基づき印刷します。

本機では使用するメディアの特性に合わせて、[ヒーター温度設定] や [吸着力]、[ギャップ調整] など、さまざまなメニューを設定しメディア設定として保存できます。保存は、設定番号 1~30 に割り当てることで 30 個まで行えます。

メディア設定の詳細 『ユーザーズガイド』(PDF)

以下の設定で使用するボタン



1 任意の項目を選択して実行します。

### 表示されている内容で印刷するとき

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して [上記設定で決定する] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

このあとは、手順 6 に進みます。

### 設定を変更するとき

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して [設定を変更する] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

2 変更する項目を選択して【OK】 ボタンを押します。

3 設定値を選択して【OK】 ボタンを押します。

4 【5】 ボタンを押すと、手順 2 の画面に戻りますので、再度【5】 ボタンを押します。

5 設定内容が変わったことを確認して、【▼】 / 【▲】 ボタンを押して [上記設定で決定する] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

6 ロール巻き仕様の選択画面が表示されます。

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、セットしたロールに応じた巻き仕様を選択し、【OK】 ボタンを押します。

7 [残量管理設定] を [ON] にしているときは、セットしたメディアの長さを入力する画面が表示されます。

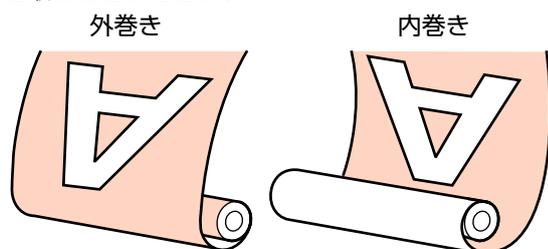
【▼】 / 【▲】 ボタンを押してメディアの全長を 1.0~999.5m の範囲で設定し、【OK】 ボタンを押します。設定は 0.5m 単位で行えます。

しばらくして画面に [印刷可能] と表示されたら、印刷ができます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

## 自動巻取りユニットの使い方

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。



外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。  
内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。

標準装備の自動巻取りユニットへのメディア取り付け手順を説明します。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアルについて](#) 2 ページ

## 自動巻取りユニット使用時のご注意

### ⚠ 注意

- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧になり、正しく作業してください。メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをすることがあります。
- メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼働部に巻き込まれないように注意してください。けがをすることがあります。

### メディア幅よりも長い紙管を使用する。

メディアが紙管からはみ出さずに正しく巻き取ることができます。

### 紙管にメディアを取り付けるときは、付属の紙テープを使用する。

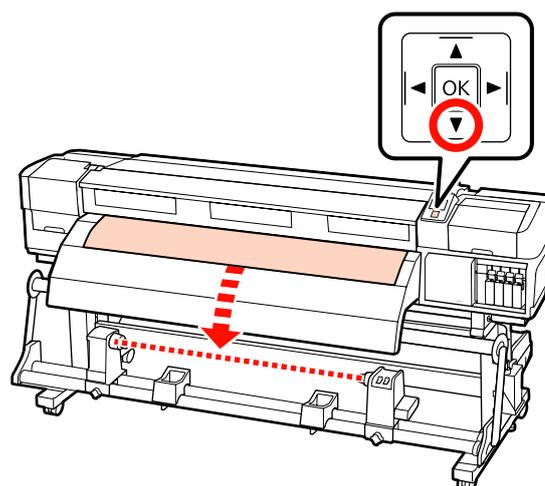
紙テープを使用すると、巻き取りズレの発生を低減することができます。付属品が終了したときは、幅 20~25mm の市販の紙テープ（伸びにくく切れにくいもの）をお買い求めください。紙テープが手に入らないときは、メディアを幅 20~25mm、長さ 60cm にカットしたもので代用できます。

## 紙管の取り付け方

作業を開始する前に、必ず以下をお読みください。

[「自動巻取りユニット使用時のご注意」12 ページ](#)

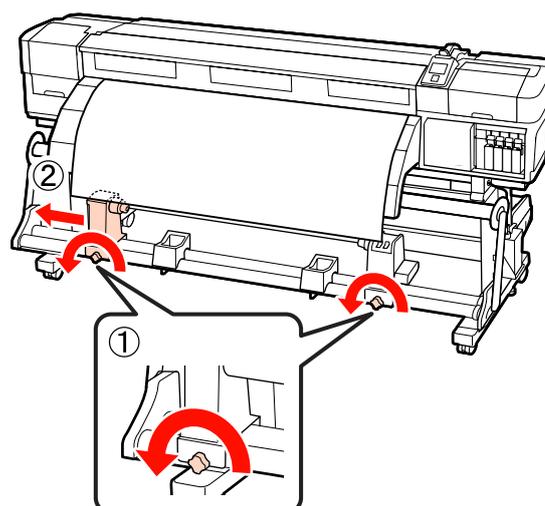
- 1 メディアの先端が紙管ホルダーに届くまで、【▼】ボタンを押し続けます。



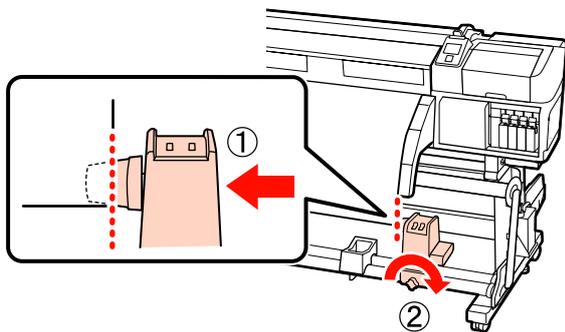
### 重要

メディアは、必ず【▼】ボタンを押して紙管ホルダーの位置まで送り出してください。手で引き出すと、巻き取り時にメディアがねじれる原因となります。

2

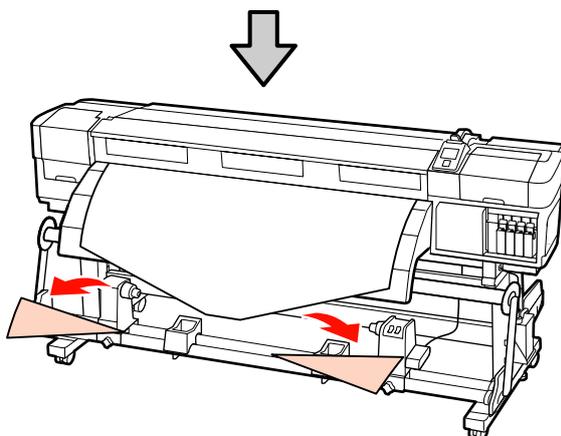
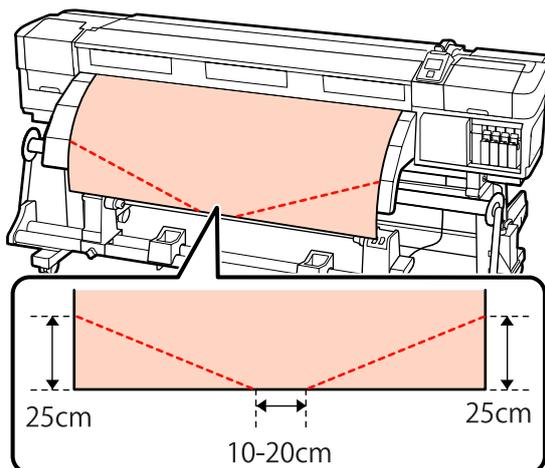


- 3** 紙管ホルダーをメディア右端に合わせて、固定ネジを締めます。

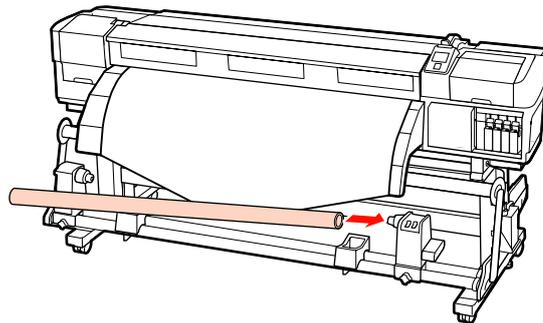


- 4** メディアの中央を 10~20cm 残して、左右とも高さ 25cm 以上になるように角をカットします。

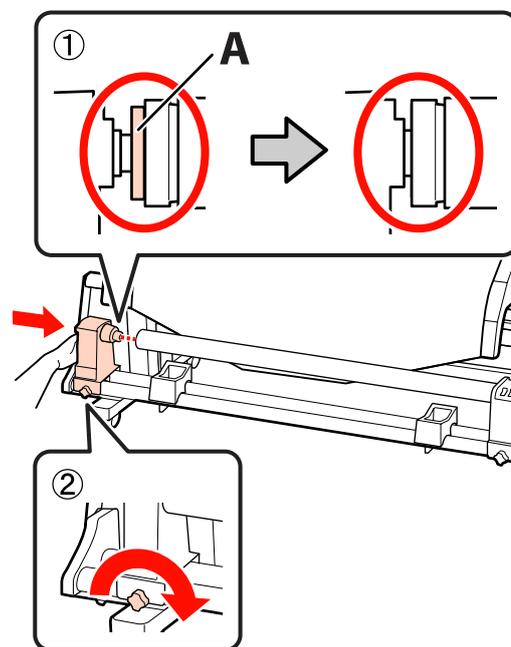
カットすると、巻き取り開始時にメディア左右の角が折れて巻き込まれ、均等に巻き取れなくなる不具合を防げます。



- 5** 右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。



- 6** 図の A の部分が完全に入り込むまで押しつけて、固定ネジを締めます。



**！重要**

A の部分が隠れたら、それ以上は押し込まないでください。押し込みすぎると、正しく巻き取れないことがあります。

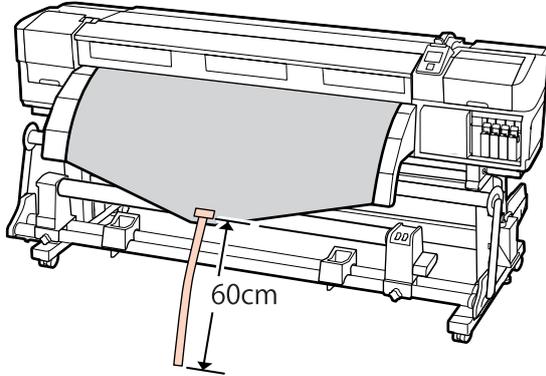
続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧ください。

外巻きで巻き取るとき [👉 「外巻きでの巻き取り方」](#)  
14 ページ

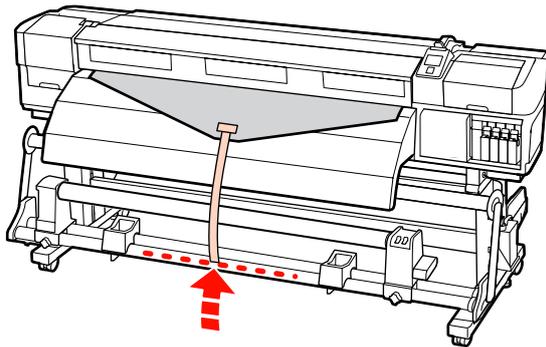
内巻きで巻き取るとき [👉 「内巻きでの巻き取り方」](#)  
16 ページ

## 外巻きでの巻き取り方

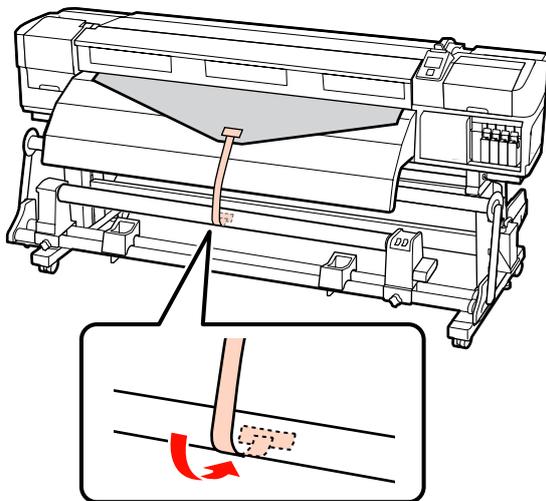
- 1 紙テープを長さ約 60cm にカットして、メディアの中央に市販の接着用テープで貼り付けます。



- 2 紙テープの先端がパイプの中央に来るまで、【▲】ボタンを押し続けます。



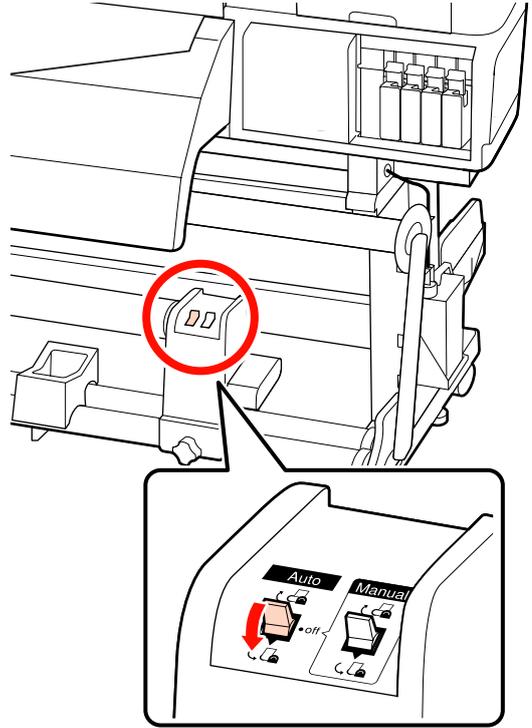
- 3 紙テープを紙管の表側から裏側に回して、市販の接着用テープで貼り付けます。



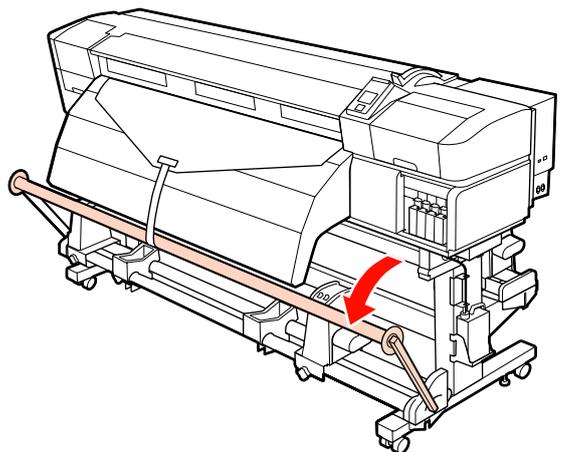
### ！重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

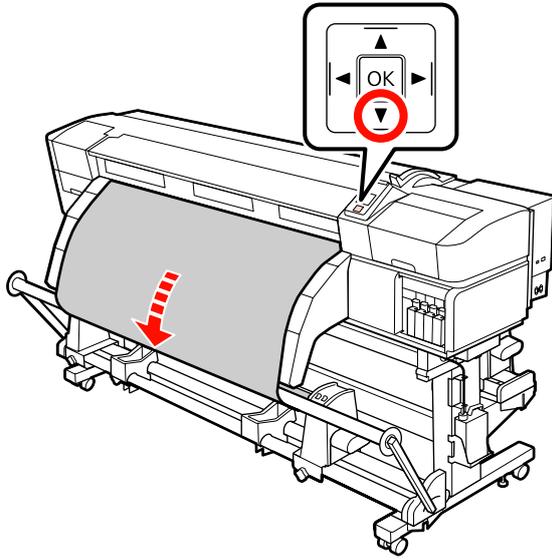
- 4 Auto スイッチを  にセットします。



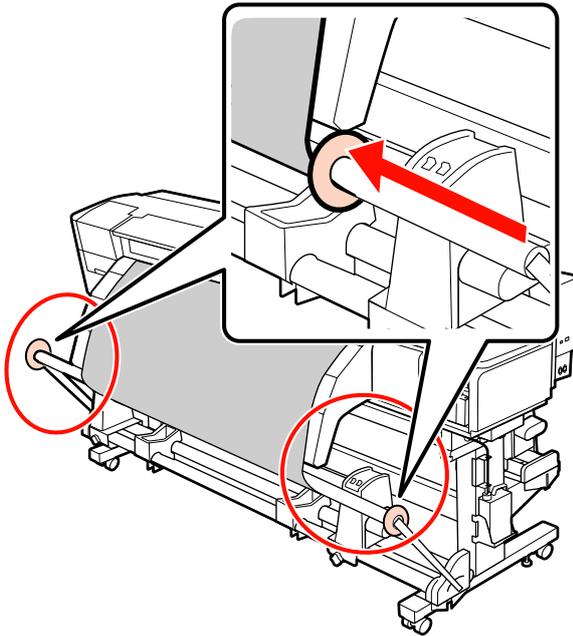
- 5 テンショナーが紙テープに軽く触れるまで倒します。



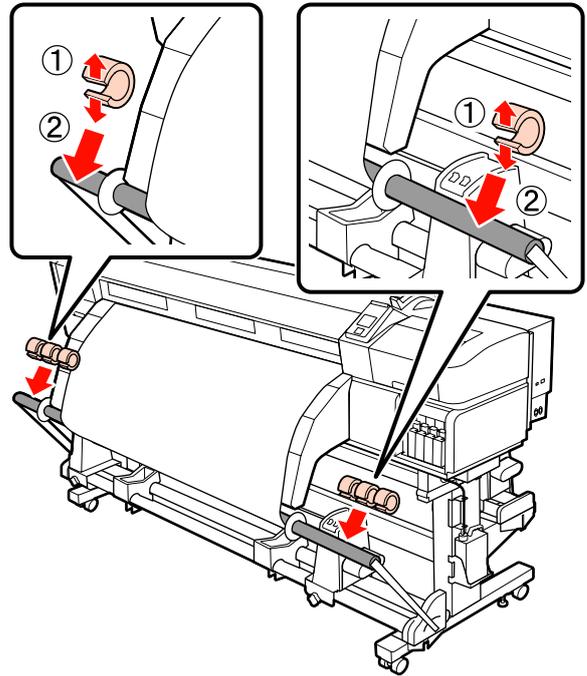
- 6** メディアの両端が紙管まで届き 1~2 周巻き取られるまで、【▼】ボタンを押し続けます。



- 7** 左右のテンショナーメディアガイドをメディアの左右端に軽く当たる程度に寄せます。

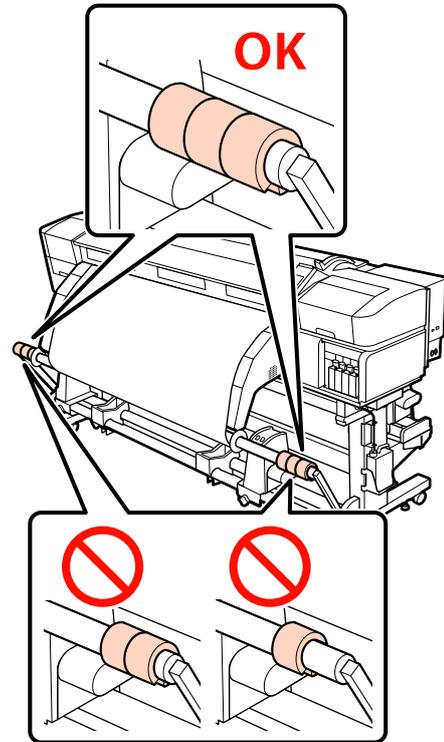


- 8** ターポリン装着時は、テンショナーの両端にカウンターウェイトを 3 個ずつ取り付けます。



**！重要**

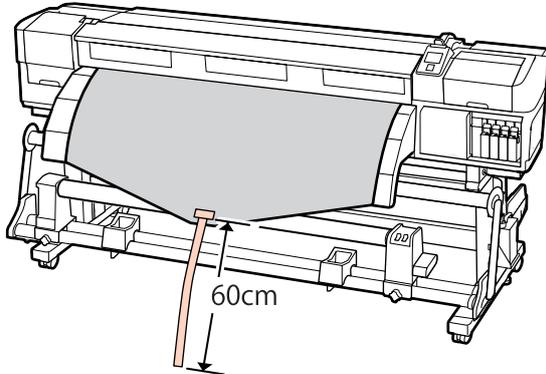
- 必ず、左右 3 個ずつ取り付けてください。片側のみや左右で個数が異なると、正しく巻き取れません。



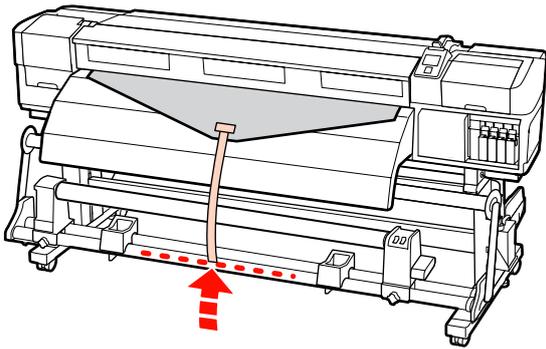
- ターポリン以外のメディアは、必ずカウンターウェイトを取り外して印刷してください。印刷中にメディアとプリントヘッドがこすれる原因となります。取り外すときは、取り付け時と同様にカウンターウェイトを広げて取り外してください。

## 内巻きでの巻き取り方

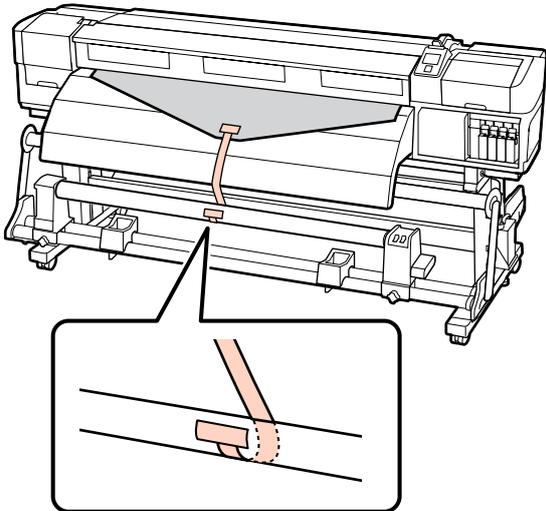
- 1 紙テープを長さ約 60cm にカットして、メディアの中央に市販の接着用テープで貼り付けます。



- 2 紙テープの先端がパイプの中央に来るまで、【▲】ボタンを押し続けます。



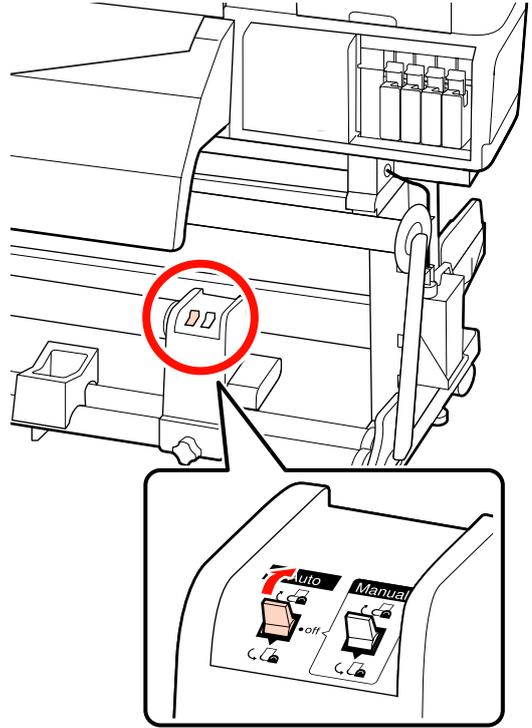
- 3 紙テープを紙管の裏側から表側に回して、市販の接着用テープで貼り付けます。



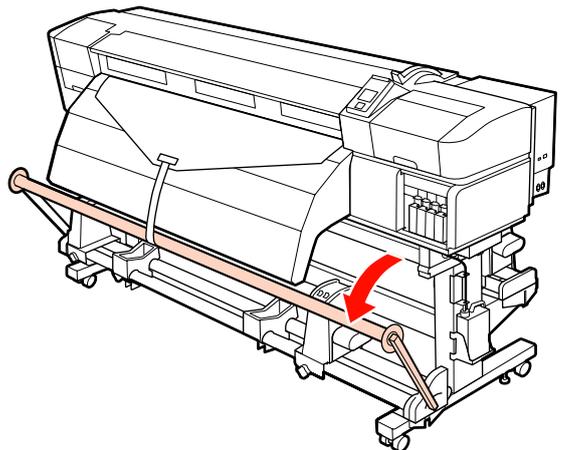
### ！重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

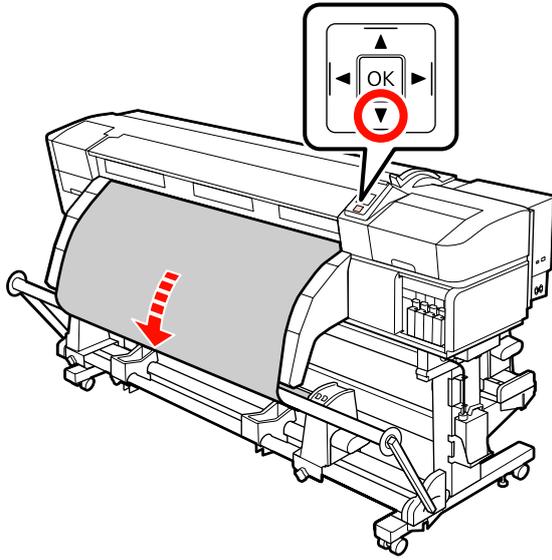
- 4 Auto スイッチを  にセットします。



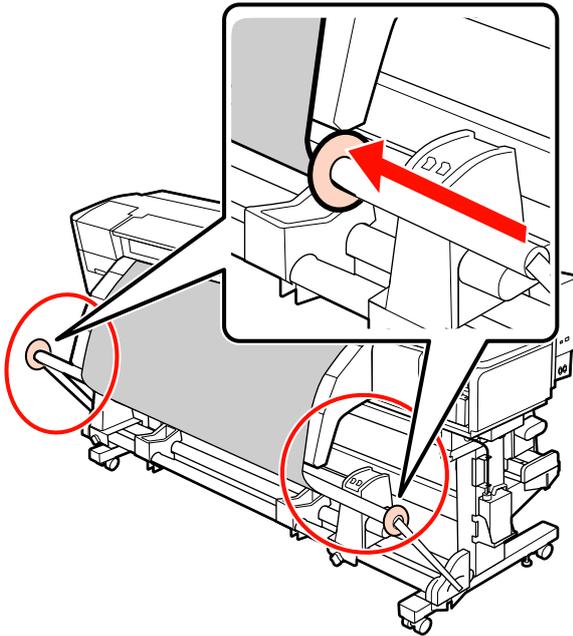
- 5 テンショナーが紙テープに軽く触れるまで倒します。



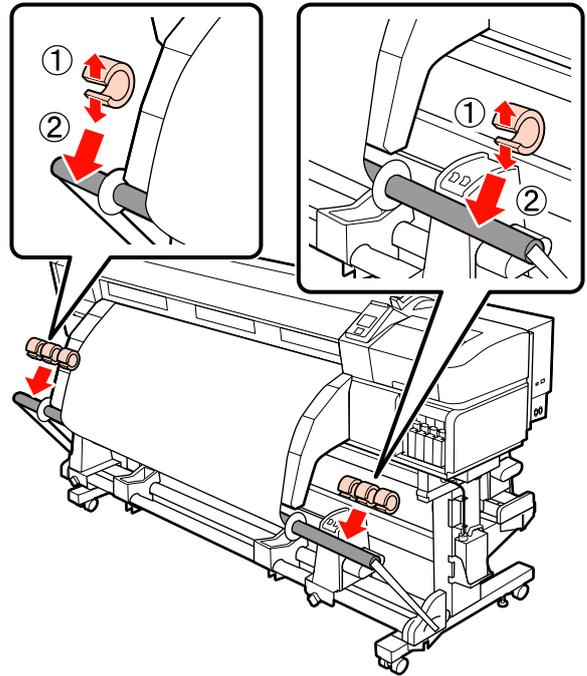
- 6** メディアの両端が1~2周巻き取られるまで、**【▼】** ボタンを押し続けます。



- 7** 左右のテンショナーメディアガイドをメディアの左右端に軽く当たる程度に寄せます。

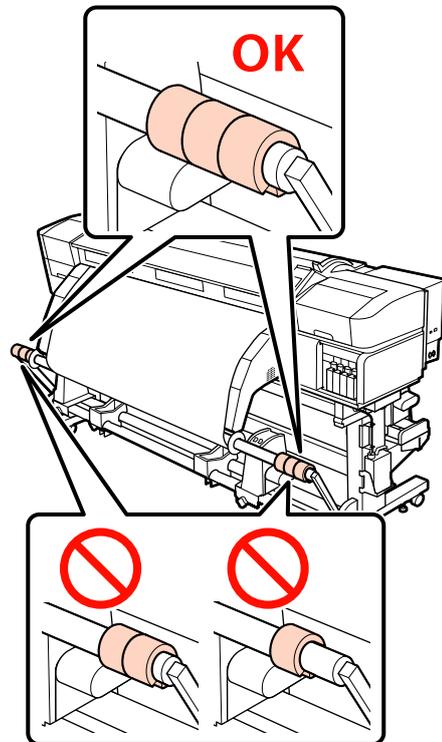


- 8** ターボリン装着時は、テンショナーの両端にカウンターウェイトを3個ずつ取り付けます。



**！重要**

- 必ず、左右3個ずつ取り付けてください。片側のみや左右で個数が異なると、正しく巻き取れません。

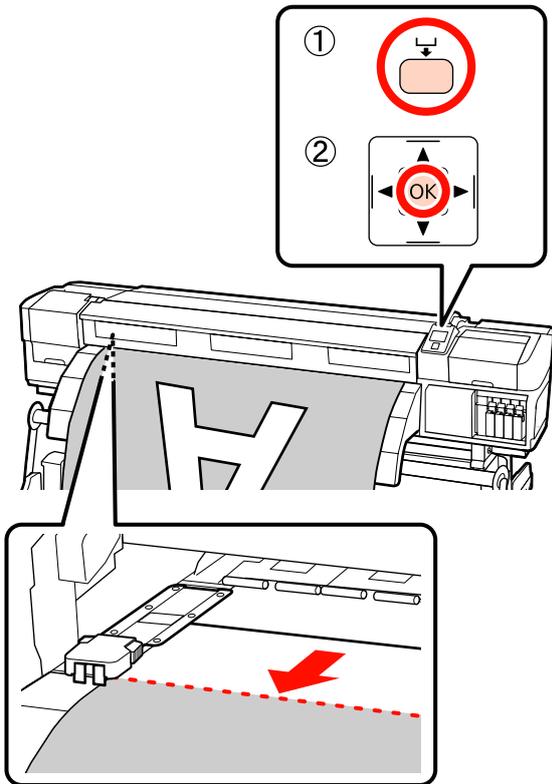


- ターボリン以外のメディアは、必ずカウンターウェイトを取り外して印刷してください。印刷中にメディアとプリントヘッドがこすれる原因となります。取り外すときは、取り付け時と同様にカウンターウェイトを広げて取り外してください。

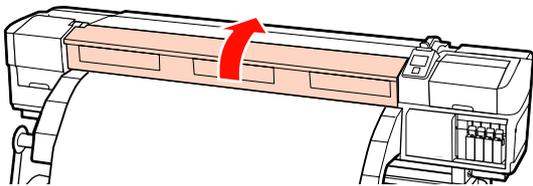
# 巻き取ったメディアの取り外し方

## メディアのカット

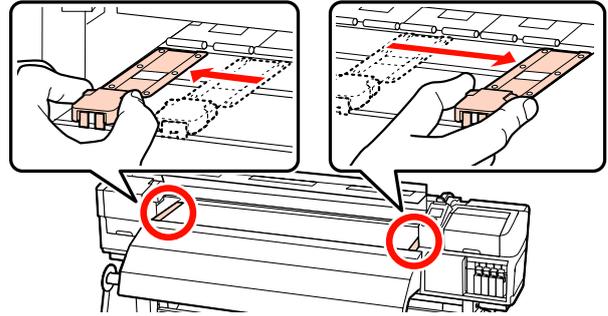
- 1** 【】 ボタンを押してから 【OK】 ボタンを押すと、印刷終端がカット位置（カッター溝）まで送られます。



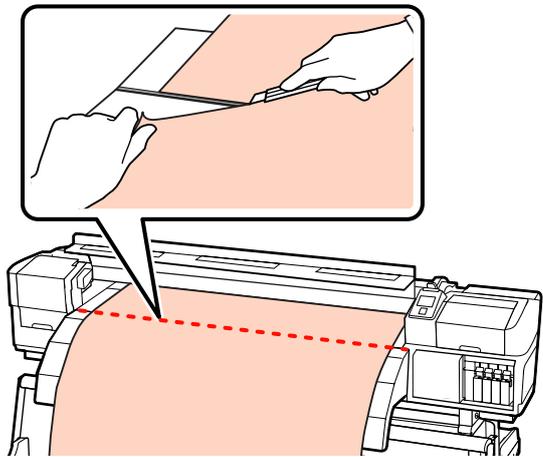
**2**



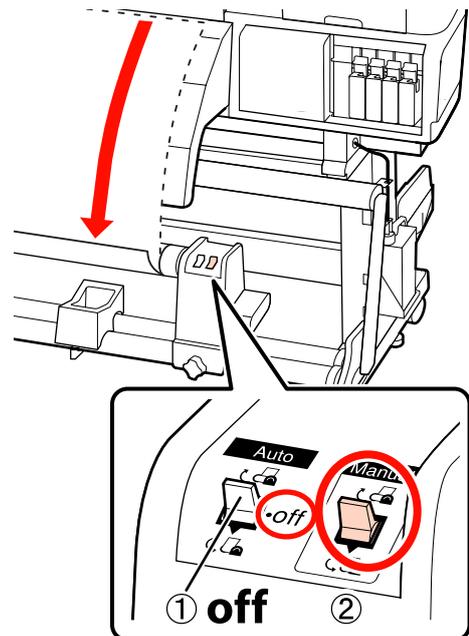
- 3** メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、プラテンの左右端に移動します。



**4**



- 5** **Auto** スイッチを **Off** にします。巻き取りの巻き仕様にに応じて **Manual** スイッチを操作して、切り離れたメディアを最後まで巻き取ります。



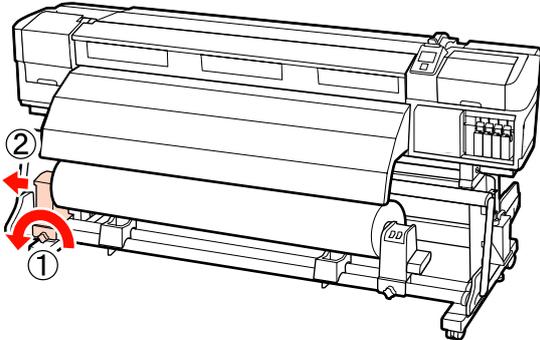
## メディアの取り外し

### ⚠ 注意

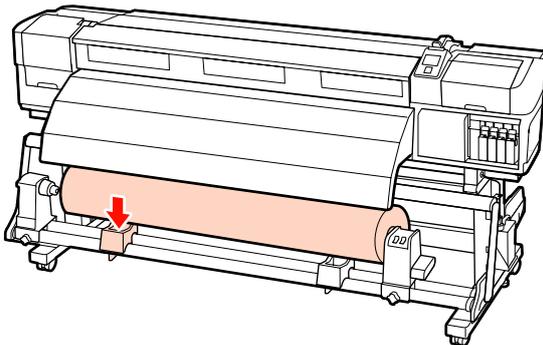
- 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2人以上で行ってください。
- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するおそれがあります。

**1** 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの左側を下から支えます。

**2** 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

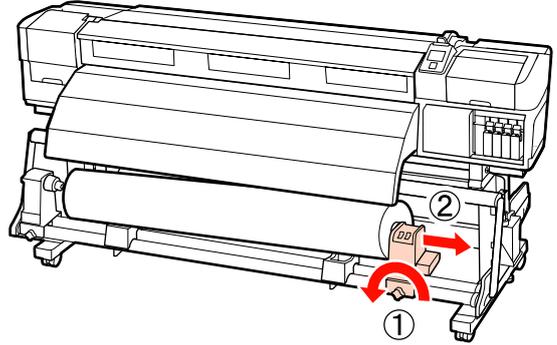


**3** ロールをロールサポート上に降ろします。

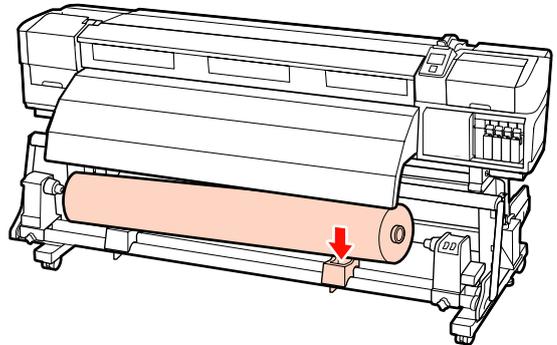


**4** 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの右側を下から支えます。

**5** 右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

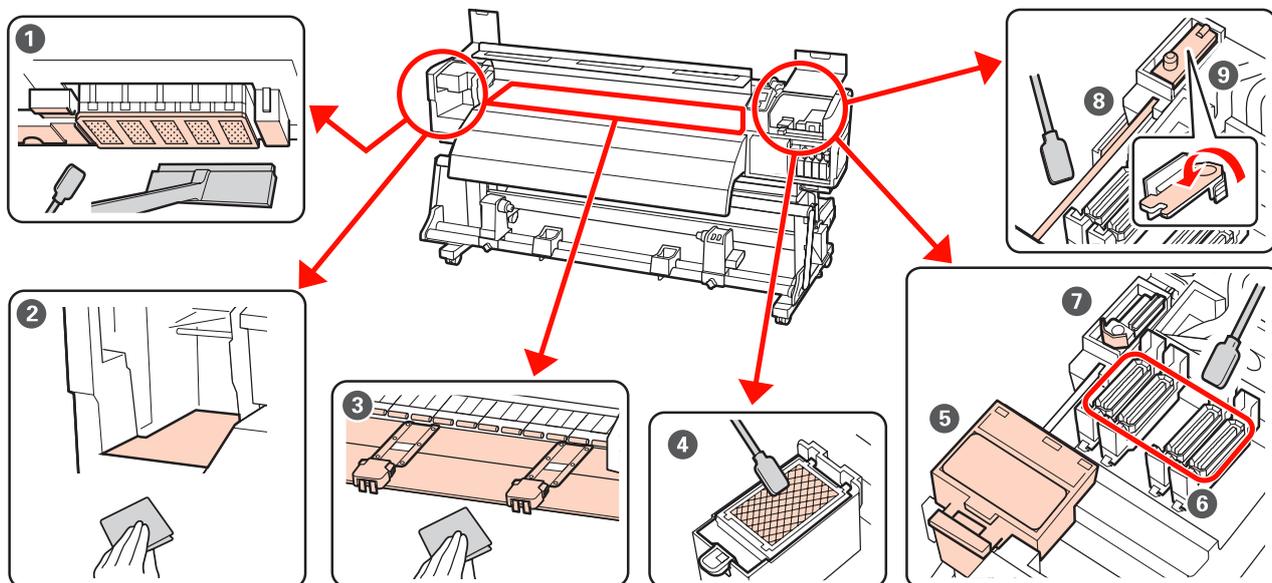


**6** ロールをロールサポート上に降ろします。



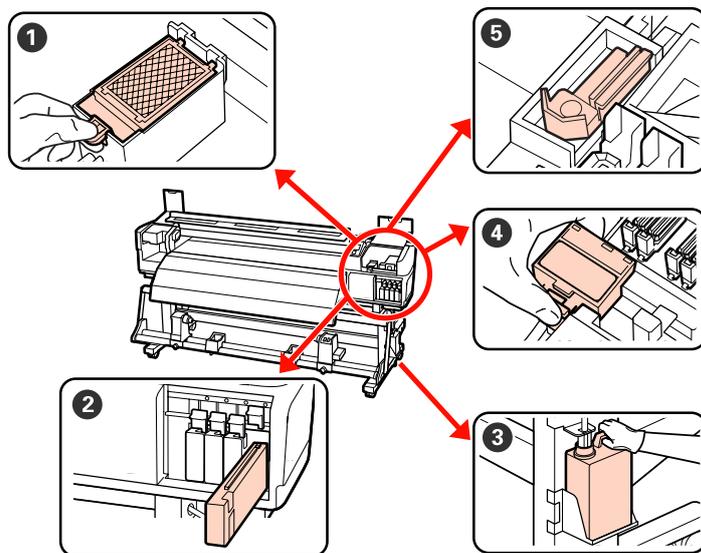
# メンテナンス

## 清掃箇所と実施時期



実施時期	清掃箇所
毎日（業務終了時）	<p>① プリントヘッド周辺  <a href="#">☞ 「プリントヘッド周辺の清掃（毎日）」 24 ページ</a></p> <p>⑤ ワイパークリーナー裏面            ⑥ キャップ            ⑦ ワイパー（ゴム部分）  <a href="#">☞ 「キャップ周辺の清掃（毎日）」 26 ページ</a></p> <p>手順は YouTube から動画でご覧いただけます。  <a href="#">☞ 「動画マニュアルについて」 2 ページ</a></p>
2 週間に 1 度	<p>⑧ ワイパーレール  <a href="#">☞ 「ワイパーレールの清掃（2 週間に 1 度）」 32 ページ</a></p> <p>⑨ ワイパー（全体）と装着部  <a href="#">☞ 「ワイパー（全体）と装着部の清掃（2 週間に 1 度）」 31 ページ</a></p> <p>手順は YouTube から動画でご覧いただけます。  <a href="#">☞ 「動画マニュアルについて」 2 ページ</a></p>
1 週間から 1 ヶ月に 1 度（汚れ具合による）	<p>② 左側のメンテナンスカバー内部            ③ プラテンヒーター、加圧ローラー、メディア押さえ板  <a href="#">☞ 「内部の清掃（1 週間から 1 ヶ月に 1 度）」 33 ページ</a></p>
インクの固着、毛羽ゴミやホコリなどが付着して汚れているとき	<p>④ フラッシング用吸収材  <a href="#">☞ 「フラッシング用吸収材の清掃（汚れているとき）」 35 ページ</a></p>

## 消耗品の箇所と交換時期



実施時期	交換箇所
操作パネルの画面にインクの残量警告が表示されたら、できるだけ早く	② インクカートリッジ ☞ 「交換方法」 37 ページ
操作パネルの画面に準備や交換を促すメッセージが表示されたとき	③ 廃インクボトル ☞ 「廃インク処理」 38 ページ
3 ヶ月に 1 度*	① フラッシング用吸収材 ④ ワイパークリーナー ⑤ ワイパー

\* 各消耗品の状態によって、交換時期は変わります。ワイパーとワイパークリーナーは同時に交換してください。詳細 ☞ 「ユーザーズガイド」 (PDF)

## その他のメンテナンス

実施時期	種類
3 週間に 1 度	インクカートリッジのかくはん ☞ 「かくはんの方法」 37 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズルが目詰まりしているか確認したいとき</li> <li>目詰まりしている色を確認したいとき</li> <li>水平方向のスジ/濃淡ムラ (バンディング) が見られるとき</li> </ul>	ノズルの目詰まりチェック*
ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき	ヘッドクリーニング*
本機を 1 ヶ月以上使用しない (電源を切る) とき	長期保管前メンテナンス ☞ 「長期間保管するときの事前メンテナンス」 41 ページ
操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されたとき  注油時期です。マニュアルを参照し専用グリスを注油してください	キャリッジ副軸用グリスの注油 ☞ 「キャリッジ副軸用グリスの注油 (メッセージが表示されたとき)」 42 ページ

\* 詳細 ☞ 「ユーザーズガイド」 (PDF)

## 準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

### 保護メガネ（市販品）

インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

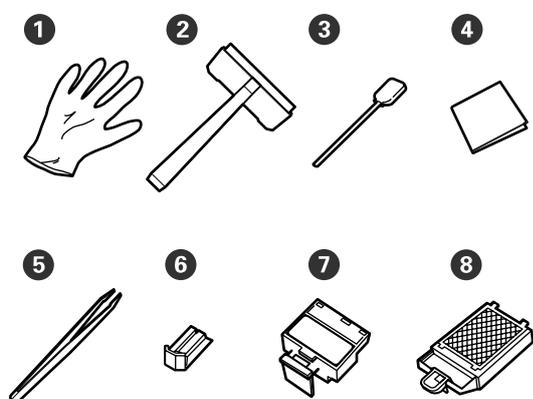
### マスク（市販品）

インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保護します。

### メンテナンスキット（本製品付属）

清掃全般で使用します。

以下の部品がセットで入っています。



- ① 手袋（2枚）
- ② クリーニングワイパー（1個）
- ③ クリーニング棒（50本）
- ④ クリーンルーム用ワイパー（100枚）
- ⑤ ピンセット（1個）
- ⑥ ワイパー（1個）
- ⑦ ワイパークリーナー（1個）
- ⑧ フラッシング用吸収材（1個）

### インククリーナー（本製品付属）

インク汚れを拭き取るときに使います。

使い方 ☞ [「インククリーナーの使い方」24ページ](#)

### 金属トレイ（本製品付属）



清掃用具や取り外した消耗品、付属の容器に移したインククリーナーを置くのに使います。

### 重要

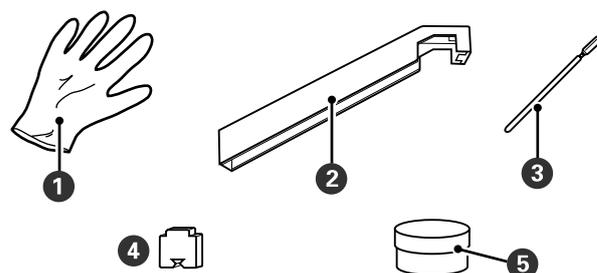
使用済みのクリーニング棒などを本機の上に直接置くとインククリーナーの性質上、変形のおそれがあります。

### 柔らかい布、ブラシ（市販品）

本機内部の清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお勧めします。

### 注油キット（本製品付属）

キャリッジ副軸にグリスを塗布する際に使用します。以下の部品がセットで入っています。



- ① 手袋（10枚）
- ② グリス注油ツール（1個）
- ③ クリーニング棒（5本）
- ④ パッド（5個）
- ⑤ キャリッジ副軸用グリス（以降グリス）（1個）

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。

☞ [「メンテナンス用品のご案内」44ページ](#)

## 作業時のご注意

メンテナンスは、以下の注意点を守って作業を行ってください。また、インクカートリッジ、クリーニングカートリッジ、インククリーナー、キャリッジ副軸用グリス、廃インクを取り扱う前には、製品安全データシートをお読みください。

製品安全データシートは、エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

### ⚠ 注意

- インクカートリッジ、クリーニングカートリッジ、インククリーナー、キャリッジ副軸用グリス、廃インクは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクや廃インク、インククリーナー、キャリッジ副軸用グリスが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- 廃インクボトルの交換やインククリーナーを使った作業の後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。

- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽ゴミの出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- プrintヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどの清掃に水やアルコールを使わないでください。インクと水、アルコールが混ざると固まります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

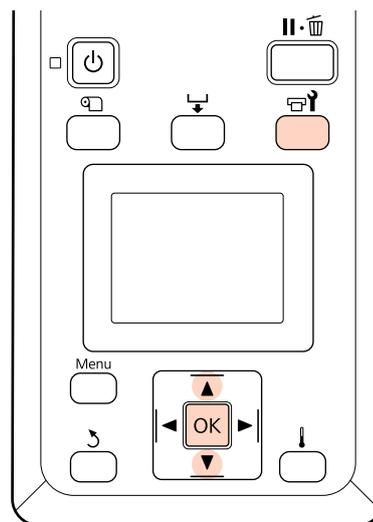
## プリントヘッドの移動

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

### 重要

プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってください。プリントヘッドを手で移動すると故障の原因となります。

以下の設定で使用するボタン



- 1 電源が入っていることを確認し、【電源】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【ヘッドメンテナンス】を選択し、【OK】ボタンを押します。

プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

### 参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。【OK】ボタンを押して清掃を継続してください。更に10分経過すると、再びブザーが鳴ります。

### ⚠ ご確認

メンテナンス作業開始から  
10分経過しました。  
作業終了後にクリーニングを  
行ってください。

OK 閉じる

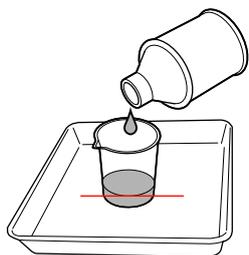
## インククリーナーの使い方

インククリーナーは、プリントヘッド周辺、キャップ周辺、フラッシング用吸収材などの清掃に限り使用してください。部品が傷つくため、他の部品にはインククリーナーを使わないでください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

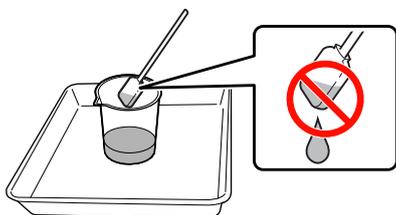
☞ [「作業時のご注意」23 ページ](#)

- 1 インククリーナーに付属の容器を金属トレイに載せてインククリーナーを約 **10ml** 注ぎます。



- 2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが垂れないように注意してください。



クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを染み込ませるときも、容器に注いだインククリーナーを使用してください。

### ！重要

- 一度清掃に使ったインククリーナーを使わないでください。汚れたインククリーナーを使うと、かえって汚れが付着します。
- 使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーは、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。  
☞ [「使用済み消耗品の処分」39 ページ](#)
- インククリーナーは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- インククリーナー使用後は、必ず内蓋をしてから外蓋を閉めてください。確実に蓋をしないとインククリーナーが漏れたり、揮発したりするおそれがあります。

## プリントヘッド周辺の清掃 (毎日)

プリントヘッドの周囲を確認し、インクの固まりが付いたり毛羽ゴミ、ホコリが付いているときは、以下の手順で清掃をしてください。

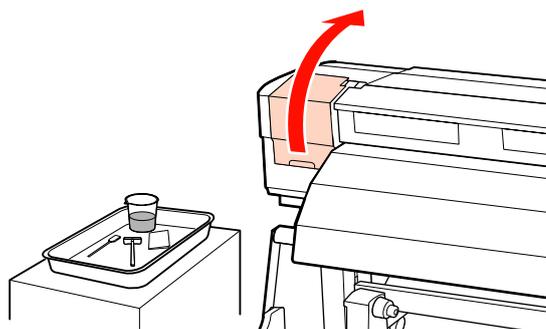
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ [「作業時のご注意」23 ページ](#)

- 1 プrintヘッドをメンテナンス位置まで移動させます。

☞ [「プリントヘッドの移動」23 ページ](#)

- 2 プrintヘッドが左側に移動したことを確認して、左側のメンテナンスカバーを開けます。



- 3 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

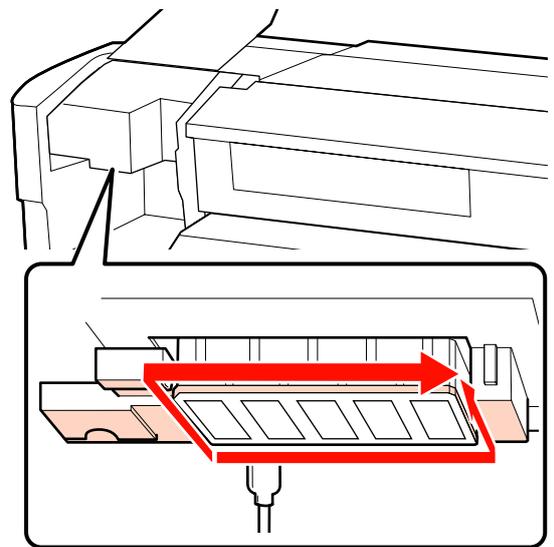
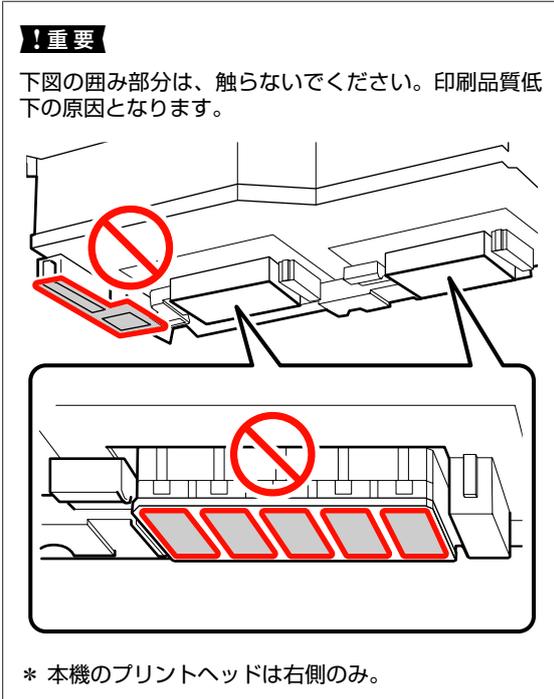
クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使いください。

☞ [「インククリーナーの使い方」24 ページ](#)

### ！重要

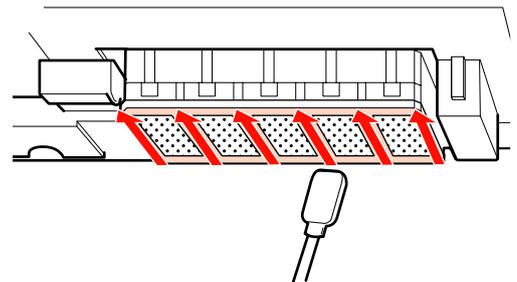
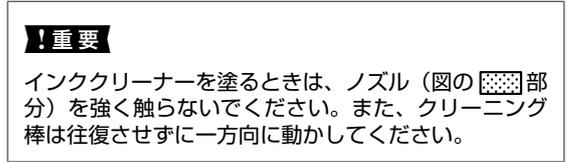
- クリーニング棒は、1 手順ごとにインククリーナーですすいでください。
- クリーニング棒でインクの固まりを取り除いたときは、クリーンルーム用ワイパーで拭き取ってください。

- 4** 図の  部分の固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

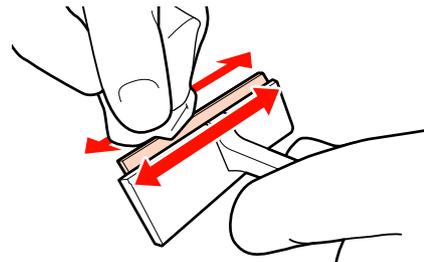


矢印で示した部分は、インクが固着しやすいので確実に拭き取ります。毛羽ゴミやホコリが引っかかっているときは、クリーニング棒の先端でからめ取ります。

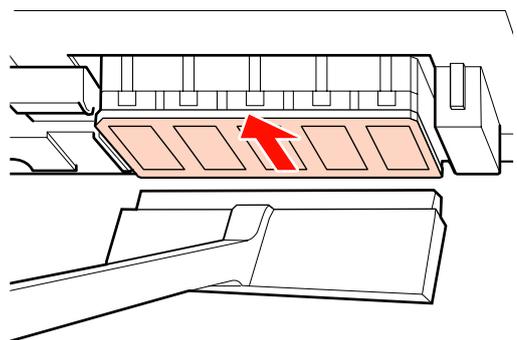
- 5** 固着したインクを溶かすために、矢印で示した部分にインククリーナーを塗ります。



- 6** インククリーナーを染み込ませたクリーンルーム用ワイパー（新品）でヘラ部分の表面、裏面、側面のホコリや汚れを拭き取ります。

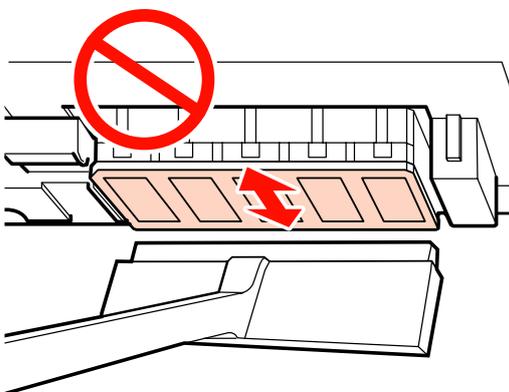


- 7** クリーニングワイパーを奥側から手前側に **1** 回動かして、プリントヘッド表面のインク汚れなどを拭き取ります。

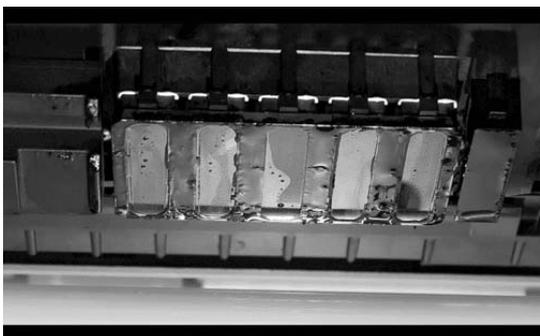


**！重要**

クリーニングワイパーを往復させないでください。プリントヘッドが破損することがあります。



**清掃前**



**清掃後**

乾燥して固まったインクや毛羽ゴミ、ホコリがきれいに取り除かれた状態。



固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリが残っているときは、手順 6～7 を繰り返します。

**！重要**

プリントヘッド表面が乾燥した状態で汚れを拭き取ると、破損するおそれがあります。表面が乾燥したら、手順 5 に戻ってインククリーナーを塗ってください。

**8** クリーニングワイパーの汚れをよく拭き取り、直射日光の当たらない場所で保管します。

**9** 左側のメンテナンスカバーを閉めます。

続いて、キャップ周辺の清掃を行ってください。

## キャップ周辺の清掃（毎日）

必ず、ワイパー（ゴム部分）を最初に清掃してください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

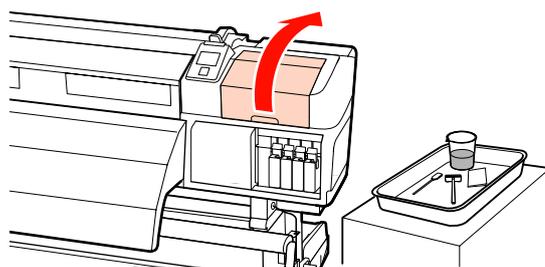
☞ [「作業時のご注意」 23 ページ](#)

## ワイパー（ゴム部分）の清掃（毎日）

2 週間に 1 度は、この作業に代わってワイパー（全体）と装着部を清掃してください。

☞ [「ワイパー（全体）と装着部の清掃（2 週間に 1 度）」 31 ページ](#)

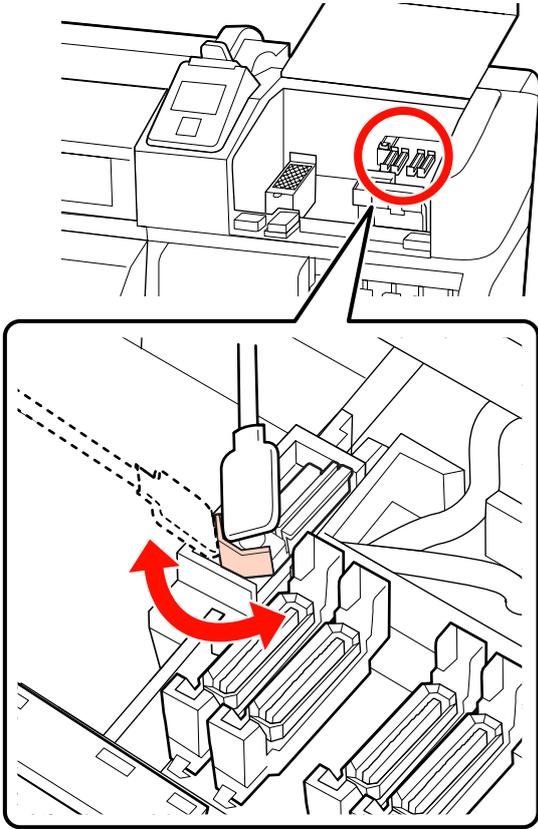
**1** 右側のメンテナンスカバーを開けます。



**2** クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

☞ [「インククリーナーの使い方」 24 ページ](#)

- 3** ワイパーのゴム部分の表裏をクリーニング棒で拭き取ります。

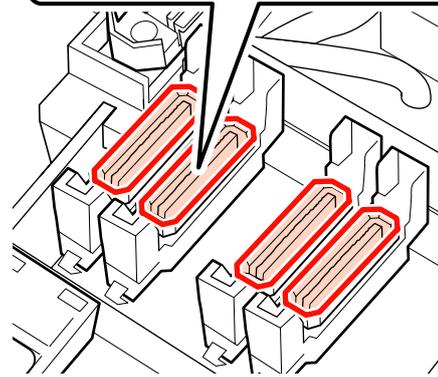
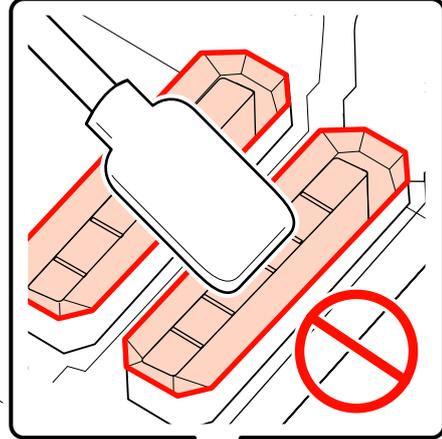


続いて、キャップの清掃に進みます。

## キャップの清掃（毎日）

### 重要

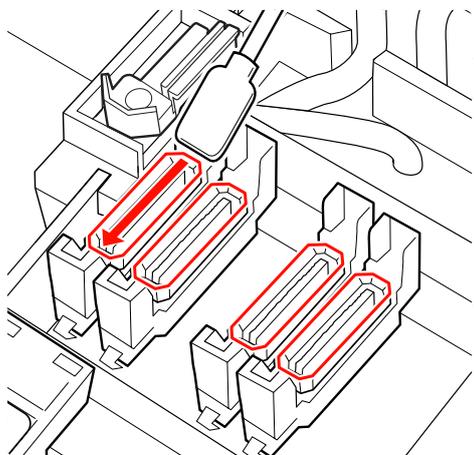
ピンセットやクリーニング棒でキャップのフチや周囲を強く押さえたり、内側に触れたりしないでください。部品が変形して、正常にキャッピングできなくなるおそれがあります。



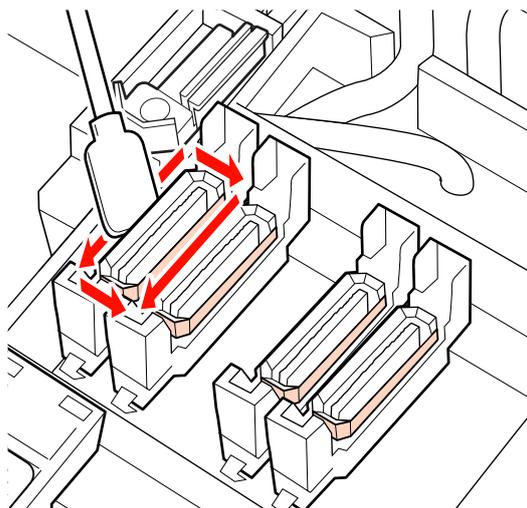
- 1** クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

 「インククリーナーの使い方」24ページ

- 2** クリーニング棒を平らにして、全てのキャップのフチを拭き取ります。



- 3** クリーニング棒を縦にして、全てのキャップの外周を拭き取ります。



キャップの前後にあるガイド部にインクが膜のように付いたり、キャップ内側に毛羽ゴミが付着しているときは、以降をご覧ください。

付着していないときは、以下に進んでください。

☞ 「ワイパークリーナーの清掃（毎日）」 29 ページ

### キャップ周辺の清掃（汚れているとき）

汚れの状態に応じて、以降の作業を行います。作業が終了したら、ワイパークリーナーの清掃へ進んでください。

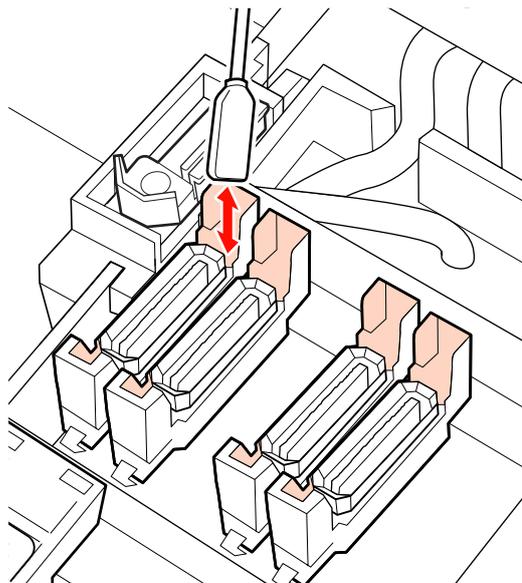
☞ 「ワイパークリーナーの清掃（毎日）」 29 ページ

### ガイド部にインクが固着しているとき

- 1** クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

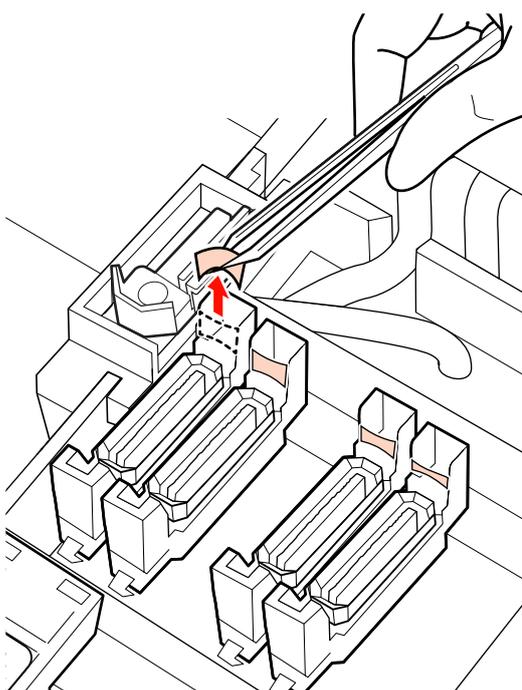
☞ 「インククリーナーの使い方」 24 ページ

- 2** ガイド部にインククリーナーを塗って拭き取ります。

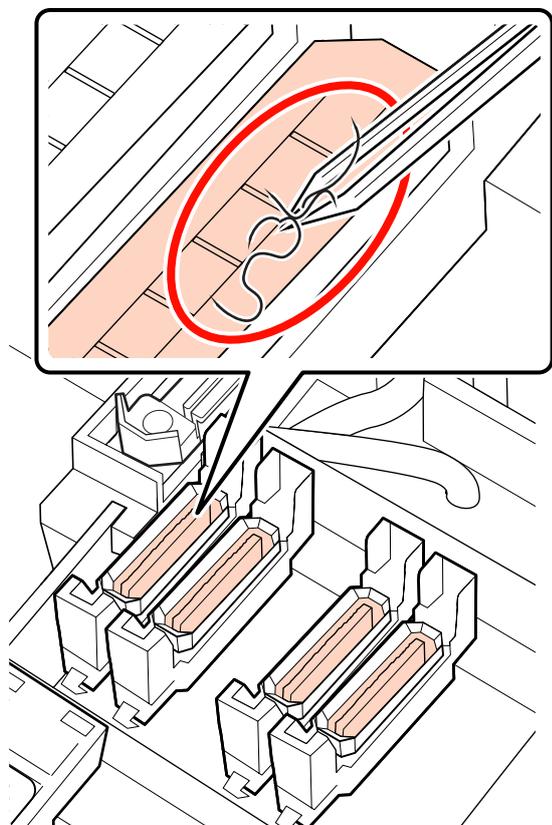


### ガイド部にインクが膜のように付いているとき

固着したインクが膜のようになってクリーニング棒で取りきれないときは、ピンセットで取り除きます。



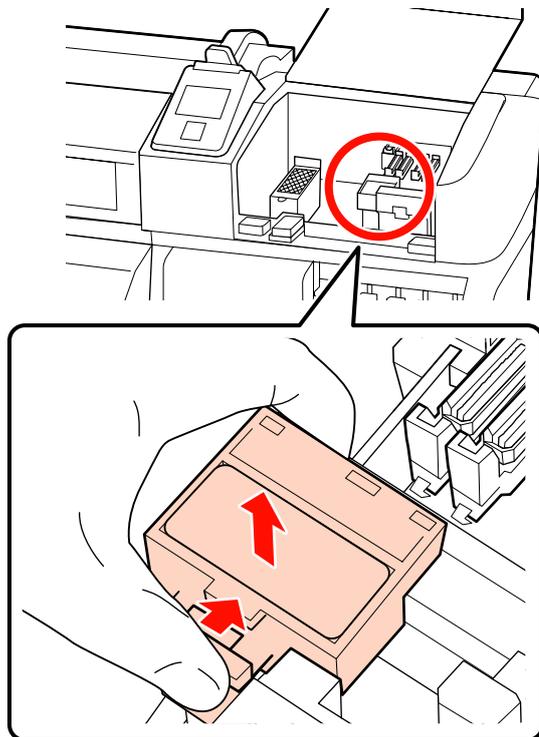
キャップ内に毛羽ゴミ、ホコリが付いているとき  
クリーニング棒の先端やピンセットで取り除いてください。



## ワイパークリーナーの清掃（毎日）

**1** 操作パネルの【OK】ボタンを押して、ワイパーが奥側に移動することを確認します。

**2** ワイパークリーナーを図のようにつまんで引き上げます。

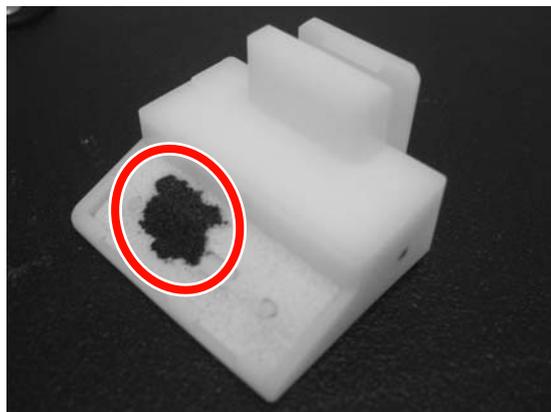


**3** ワイパークリーナーを裏返して、毛羽ゴミやホコリが付着していないか確認します。

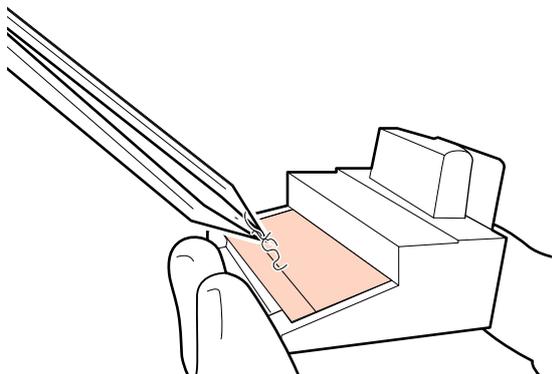
付着していないときは、手順5へ進みます。

インクは付着していても問題ありませんが、写真の  
囲み部周辺にインクが固着して膜が張ったよう  
になっているときは新品への交換をお勧めします。

📄 『ユーザーズガイド』(PDF)



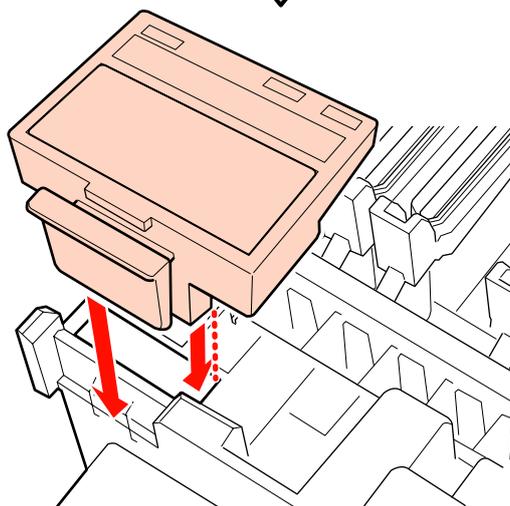
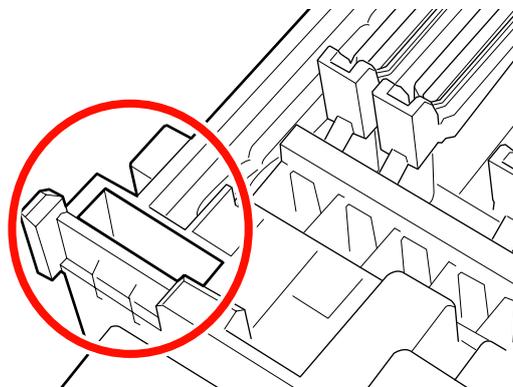
- 4** ワイパークリーナーの裏面に付着した毛羽ゴミやホコリをピンセットで取ります。



- 5** 2週間に1度は、続いてワイパーレールを清掃します。  
2週間に満たないときは、手順6に進みます。

[📄 「ワイパーレールの清掃（2週間に1度）」 32ページ](#)

- 6** ワイパークリーナーを取り付けます。  
取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込みます。



- 7** 清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを閉めて、【OK】ボタンを押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終了します。

続けて印刷するときは、[ノズルチェック]を行ってください。

[📄 「ユーザズガイド」\(PDF\)](#)

使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーの廃棄 [📄 「使用済み消耗品の処分」 39ページ](#)

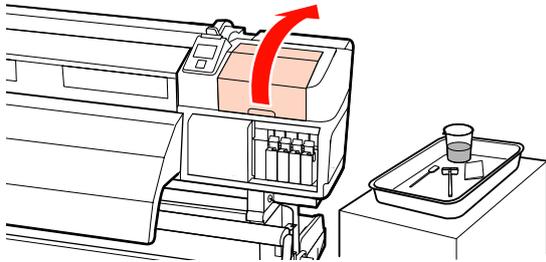
## ワイパー（全体）と装着部の清掃（2週間に1度）

ワイパー（ゴム部分）の清掃に代わって以下の清掃を行います。

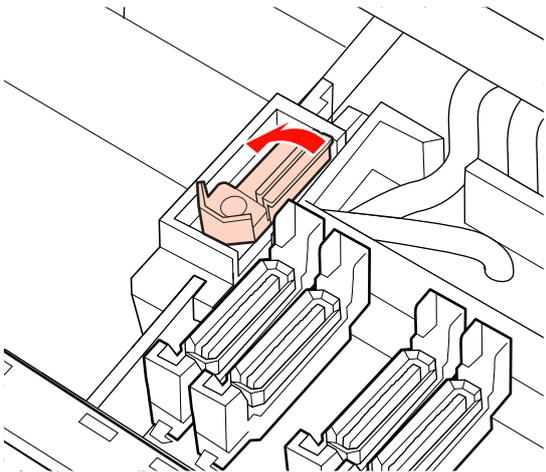
🔗 [「ワイパー（ゴム部分）の清掃（毎日）」26ページ](#)

ワイパーの底面や装着部分にインクの固まりが付いたまま使い続けると、インクの固着がキャップの周囲まで広がり、ヘッドクリーニングを繰り返してもノズルの目詰まりが解消できなくなります。

- 1 右側のメンテナンスカバーを開けます。



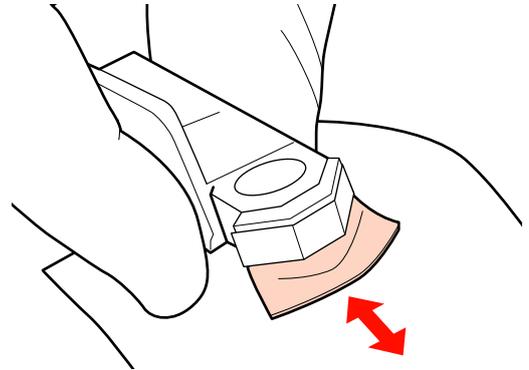
- 2 ワイパー装着部分をつまんだまま、左側に傾けて取り外します。



- 3 クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを染み込ませます。

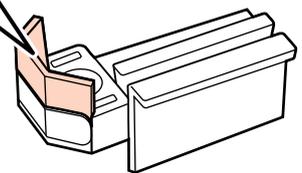
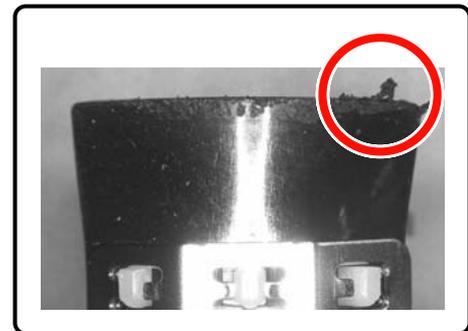
🔗 [「インククリーナーの使い方」24ページ](#)

- 4 ワイパーのゴム部分の表裏をクリーンルーム用ワイパーに押しつけて、インクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。



ワイパー部分が裂けたり、欠けたりしているときは、新品への交換をお勧めします。

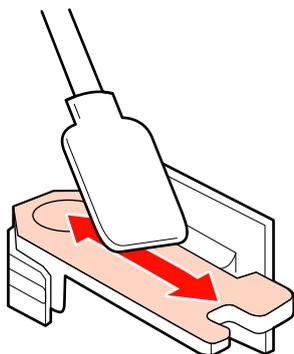
🔗 [「ユーザーズガイド」\(PDF\)](#)



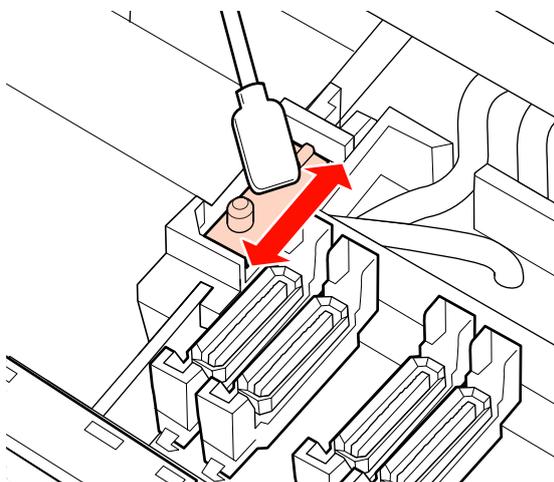
- 5 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

🔗 [「インククリーナーの使い方」24ページ](#)

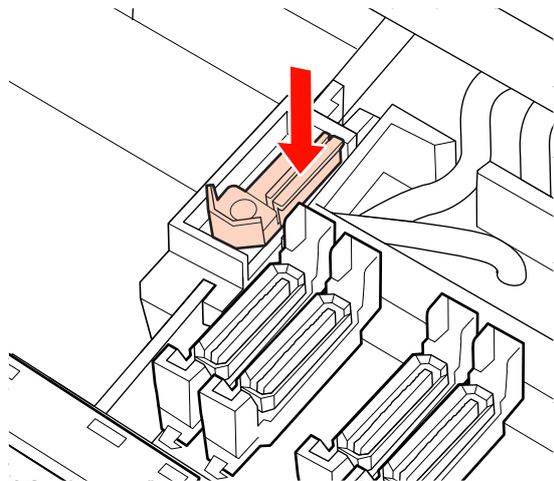
- 6 クリーニング棒でワイパーの底面の固まったインクを拭き取ります。



- 7 クリーニング棒でワイパー取り付け部分の固まったインクを拭き取ります。



- 8 清掃が終わったら、ワイパーを取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込みます。



続いて、キャップの清掃に進みます。  
[「キャップの清掃 \(毎日\)」 27 ページ](#)

## ワイパーレールの清掃 (2週間に1度)

ワイパークリーナーの清掃の手順4に続けて行います。

[「ワイパークリーナーの清掃 \(毎日\)」 29 ページ](#)

ワイパーレールにインクが固着すると、ワイパーが動かなくなりプリントヘッドのノズルに付いたインクが拭き取れません。その結果、ヘッドクリーニングを繰り返してもノズルの目詰まりが解消できなくなります。

### 重要

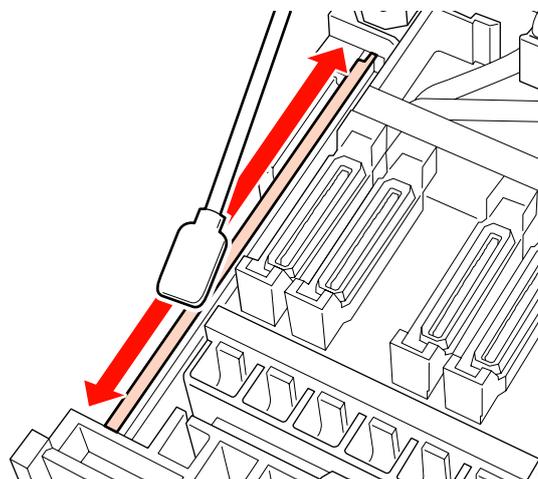
2週間に1度より頻繁に清掃を行うと、本機が故障するおそれがあります。

- 1 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

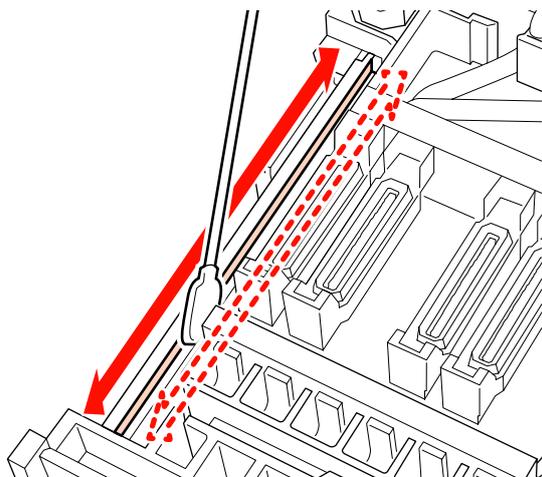
[「インククリーナーの使い方」 24 ページ](#)

- 2 ワイパーレールの天面と左右両方の側面に付着したインクを拭き取ります。

### 天面



左右の側面



SC-S70650、SC-S50650 は、もう一方のワイパーレールも同様に清掃してください。

続いて、ワイパークリーナーの清掃の手順 6 を行います。

☞ 「ワイパークリーナーの清掃 (毎日)」 29 ページ

## 内部の清掃 (1 週間から 1 ヶ月に 1 度)

プラテンヒーター上や加圧ローラー、メディア押さえ板は、毛羽ゴミやホコリ、インクの付着で汚れます。インクが付いているとメディアが汚れます。また、左側のメンテナンスカバー内に毛羽ゴミやホコリがたまった状態で放置すると、プリントヘッド周辺に付着するおそれがあります。

### ⚠ 注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

### ! 重要

内部の清掃には、インククリーナーを使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。

**1** 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

**2** 電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。

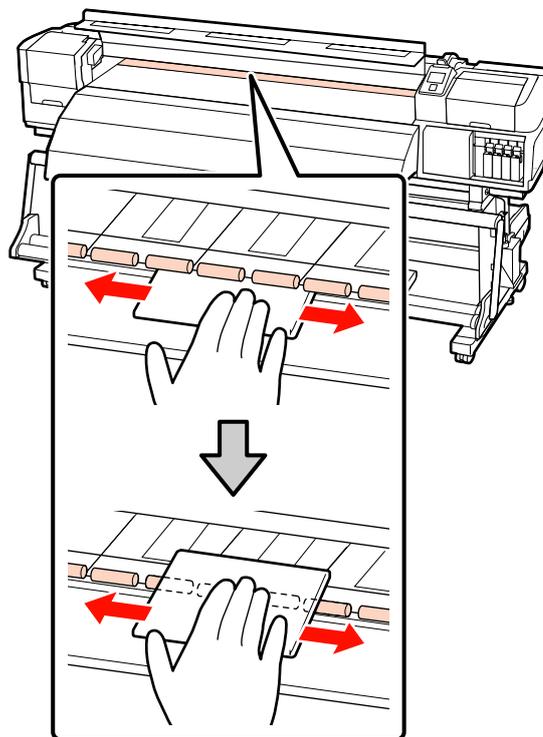
**3** 前面カバーを開けます。

**4** メディアセットレバーを上げます。

**5** 加圧ローラーとプラテンの間と加圧ローラー上部を、乾いた布で滑らせるように拭き取ります。

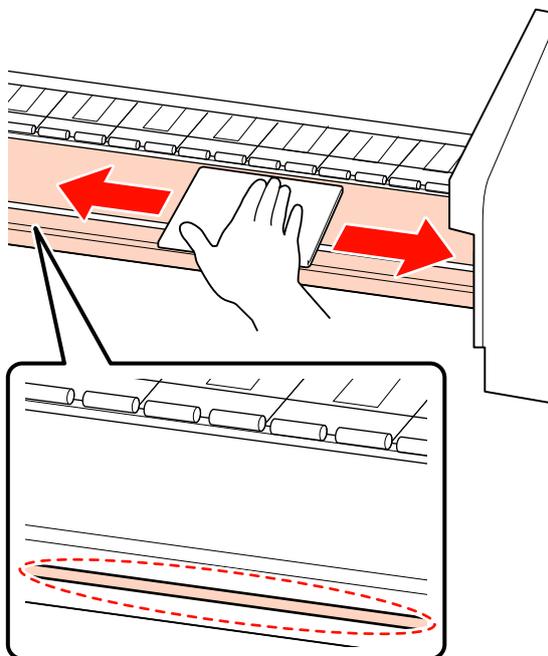
### ! 重要

拭き取る際は、ローラーを強く押さえないでください。強く押さえるとローラーが外れることがあります。



- 6** 水に浸してよく絞った柔らかい布やブラシで、プラテンヒーターに付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれいに取り除いてください。



- 7** 水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押さえ板の表面に付着した毛羽ゴミやホコリを拭き取ります。

**！重要**

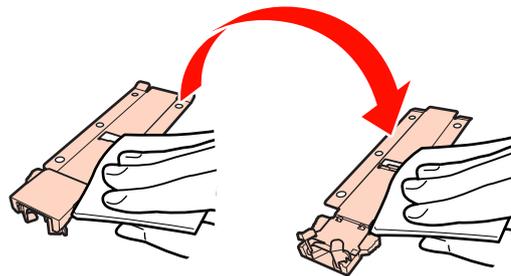
のり付きメディアを使用したときは、薄めた中性洗剤を使用して拭き取ってください。裏面にのり付きメディアののりが固着したまま使用し続けると、ヘッドこすれの原因になることがあります。

**のり付きメディアを使用したとき・インクが付着したとき**

メディア押さえ板を本機から取り外して、表裏両面の汚れを拭き取ります。

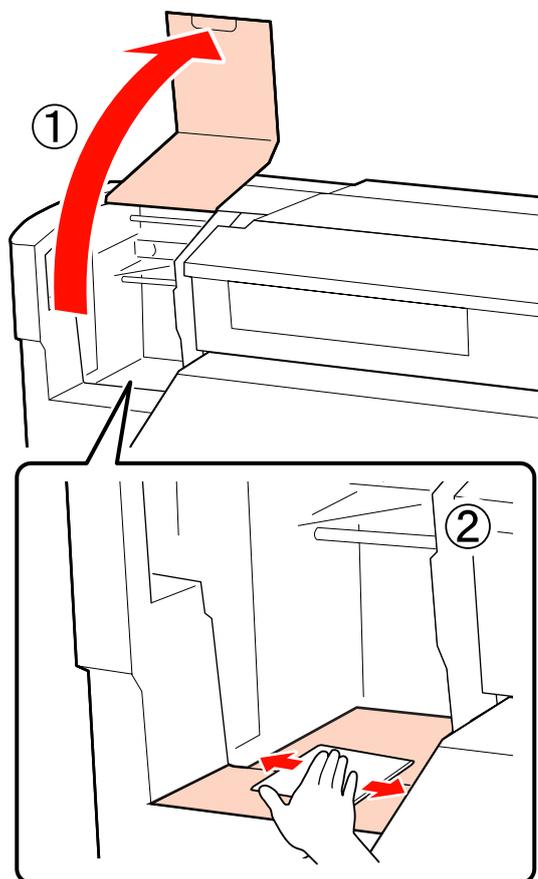
汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてください。

- メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方 『ユーザーズガイド』(PDF)



- 8** 左側メンテナンスカバーを開けて、内部を掃除します。

水に浸してよく絞った柔らかい布やブラシで毛羽ゴミやホコリを拭き取ります。



- 9** 清掃が終了したら、前面カバーと左側のメンテナンスカバーを閉めてください。

## フラッシング用吸収材の清掃（汚れているとき）

フラッシング用吸収材の表面に毛羽ゴミやホコリが付着していると、プリントヘッドに接触してノズルの目詰まりを起こすことがあります。以下の手順で清掃を行ってください。

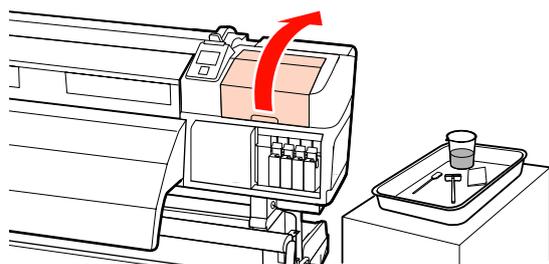
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

🔗 [「作業時のご注意」 23 ページ](#)

- 1 プrintヘッドをメンテナンス位置まで移動させます。

🔗 [「プリントヘッドの移動」 23 ページ](#)

- 2 プrintヘッドが左側に移動したことを確認して、右側のメンテナンスカバーを開けます。



- 3 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使いください。

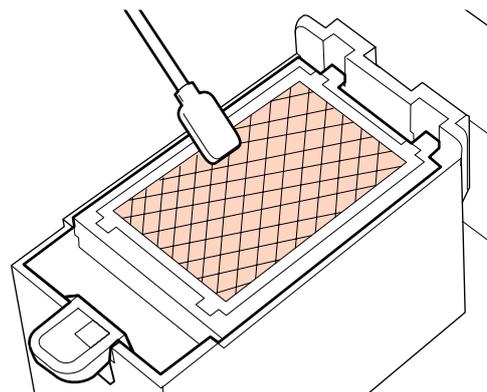
🔗 [「インククリーナーの使い方」 24 ページ](#)

- 4 フラッシング用吸収材の表面を掃除します。

毛羽ゴミやホコリをクリーニング棒の先端で取り除きます。

### ！重要

表面の金具を変形させないようにしてください。変形すると、プリントヘッドを傷つけるおそれがあります。



インクが固まって毛羽ゴミやホコリが取れないときは、新品への交換をお勧めします。

🔗 [「ユーザーズガイド」\(PDF\)](#)

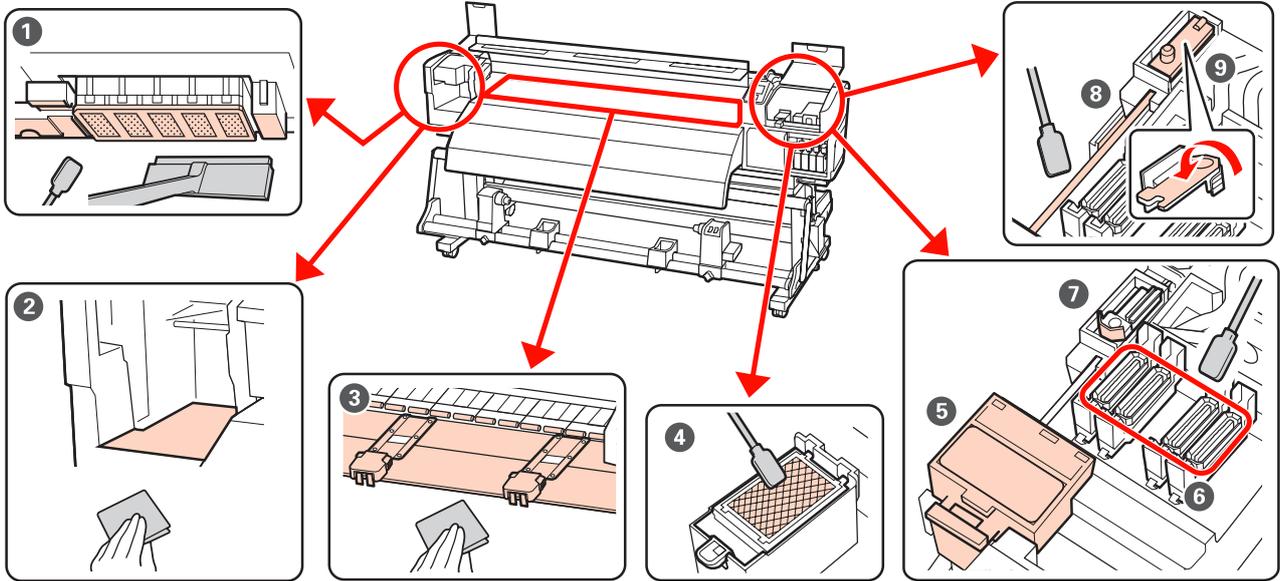
- 5 メンテナンスカバーを閉めて、【OK】ボタンを2回押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終了します。

使用済みのインククリーナーとクリーニング棒の廃棄 🔗 [「使用済み消耗品の処分」 39 ページ](#)

# 清掃チェックシート

このページをコピーして、メンテナンスの管理にお使いください。



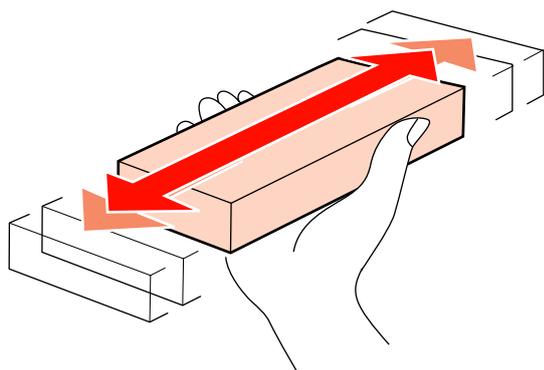
実施時期	清掃箇所	実施日				
毎日（業務終了時） 時間を置くと、インクが固着して取れにくくなります。	<b>①</b> プリントヘッド周辺 ☞ 「プリントヘッド周辺の清掃（毎日）」 24 ページ	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
	<b>⑤～⑦</b> キャップ周辺 ☞ 「キャップ周辺の清掃（毎日）」 26 ページ	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
2 週間に 1 度	<b>⑧</b> ワイパーレール ☞ 「ワイパークリーナーの清掃（毎日）」 29 ページ	/	/	/	/	/
	<b>⑨</b> ワイパー全体 ☞ 「ワイパー（全体）と装着部の清掃（2 週間に 1 度）」 31 ページ	/	/	/	/	/
1 週間から 1 カ月に 1 度	<b>②～③</b> 内部 ☞ 「内部の清掃（1 週間から 1 ヶ月に 1 度）」 33 ページ	/	/	/	/	/
	<b>④</b> フラッシング用吸収材 ☞ 「フラッシング用吸収材の清掃（汚れているとき）」 35 ページ	/	/	/	/	/
汚れているとき	<b>④</b> フラッシング用吸収材 ☞ 「フラッシング用吸収材の清掃（汚れているとき）」 35 ページ	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/

# インクカートリッジのかくはんと交換

## かくはんの方法

図のように水平方向に両側約 5cm の振り幅で、5 秒間に 15 回程度、よく振ります。

交換時は、新品を袋から取り出して振ります。



### ！重要

本機のインクカートリッジは、インクの特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。新品に交換するとき、および本機に装着後も定期的に取り外してインクカートリッジをかくはんしてください。

## 交換方法

インクの残量警告が表示されたら、できるだけ早くインクカートリッジを交換してください。1 色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。

印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。

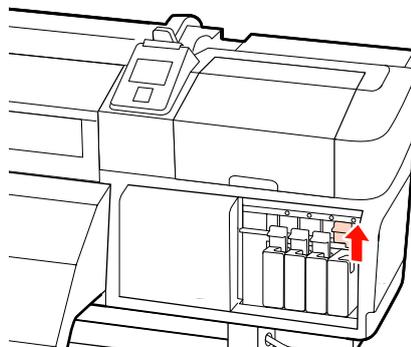
インクカートリッジとクリーニングカートリッジの交換は、以降の手順で行います。

### ！重要

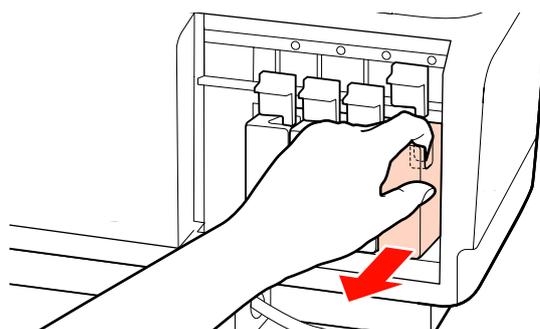
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

1 本機の電源が入っていることを確認します。

2 交換するインクカートリッジのロックレバーを引き上げます。



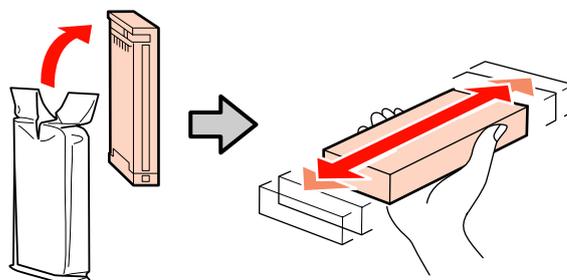
3 インクカートリッジ上部のくぼみに指をかけて、まっすぐに引き抜きます。



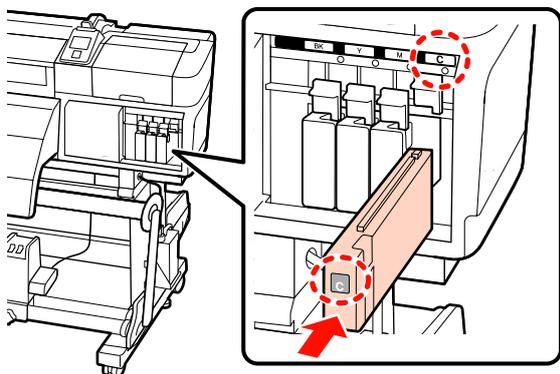
### ！重要

取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

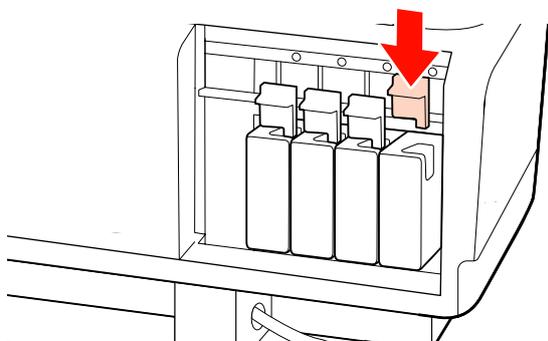
4 水平方向に両側約 5cm の振り幅で、5 秒間に 15 回程度、よく振ります。



- 5** インクカートリッジと本機に貼付のラベルの色を合わせて、奥まで差し込みます。



- 6** ロックレバーを下げてロックします。



別の色のインクカートリッジも交換するときは、手順 2～手順 6 を行います。

**！重要**

カートリッジは、全スロットに装着してください。全スロットに装着していないと印刷できません。

廃棄 ☞ [「純正カートリッジの回収」39 ページ](#)

## 廃インク処理

操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されたら、必ず直ちに新しい廃インクボトルと交換してください。

- 空の廃インクボトルを準備してください。
- 空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

**！重要**

印刷中や本機が以下の動作を実行中は、画面の指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

- ヘッドクリーニング
- ヘッド洗浄
- インクリフレッシュ
- 長期保管前メンテナンス
- カラーモード切り替え

## 廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。メッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、廃インクカウンターは自動的にクリアされます。メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、交換後にメンテナンスメニューで廃インクカウンタークリアを実行してください。

☞ 『ユーザーズガイド』(PDF)

**！重要**

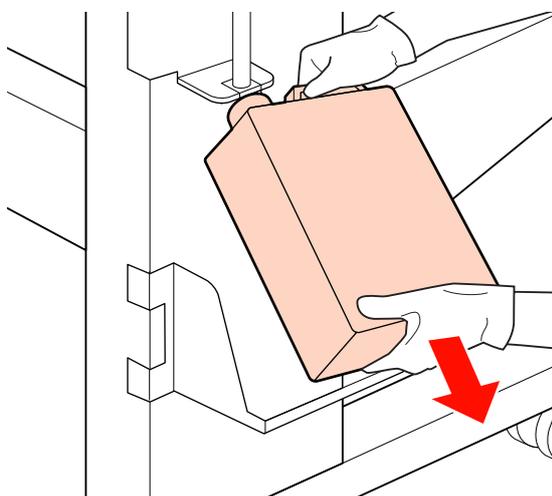
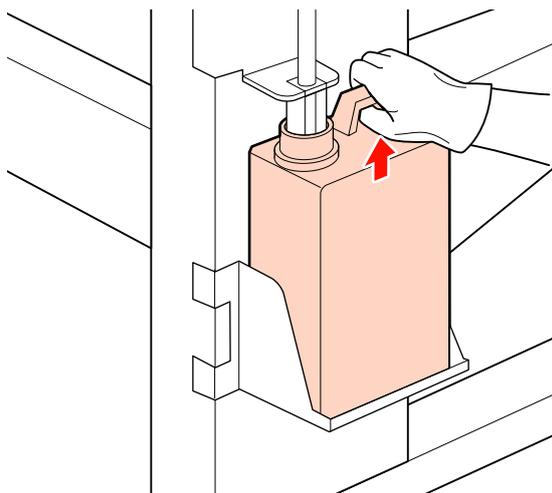
メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

## 廃インクボトルの交換

以降の手順に従って、交換作業を行います。  
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

📄 「作業時のご注意」 23 ページ

- 1** 廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取り出します。



- 2** 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。

使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

### ！重要

新しい廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄するときが必要となります。捨てずに保管しておいてください。

- 3** 【OK】 ボタンを押します。

- 4** 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されていることを確認します。【OK】 ボタンを押すと、廃インクカウンターがクリアされます。

### ！重要

必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。

使用済み廃インクボトルの廃棄 📄 「廃棄」 39 ページ

## 使用済み消耗品の処分

### 純正カートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジ、クリーニングカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

<http://www.epson.jp/recycle/>

### 廃棄

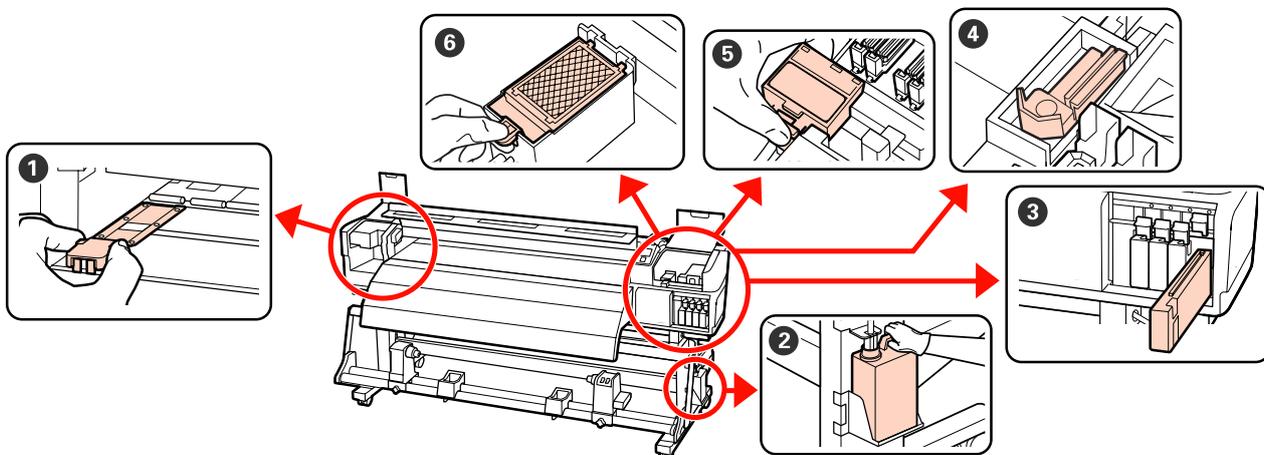
使用済みのクリーニング棒や汚れたインククリーナー、廃インクボトル、ワイパー、ワイパークリーナー、フラッシング用吸収材、印刷後のメディアなどのインク付着物は、産業廃棄物です。

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。

製品安全データシートは、エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

# 消耗品交換チェックシート

このページをコピーして、メンテナンスの管理にお使いください。



実施時期	交換箇所	実施日				
操作パネルの画面に交換メッセージが表示されたとき	② 廃インクボトル ☞ <a href="#">「廃インク処理」38ページ</a>	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
	③ インクカートリッジ ☞ <a href="#">「交換方法」37ページ</a>	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
3 ヶ月に1度 ワイパーとワイパークリーナーは、必ず同時に交換してください。	④ ワイパー ⑤ ワイパークリーナー ☞ <a href="#">「ユーザーズガイド」(PDF)</a>	/	/	/	/	/
	⑥ フラッシング用吸収材 ☞ <a href="#">「ユーザーズガイド」(PDF)</a>	/	/	/	/	/
変形したり破損したりしたとき	① メディア押さえ板 ☞ <a href="#">「ユーザーズガイド」(PDF)</a>	/	/	/	/	/

## 長期間保管するときの事前メンテナンス

本機を下表の期間使用しない（電源を切る）ときは、必ず [長期保管前メンテナンス] を実施してください。[長期保管前メンテナンス] では、別売のクリーニングカートリッジを下表の本数使います。

未使用期間の目安	本数
1ヶ月以上	4本

### 重要

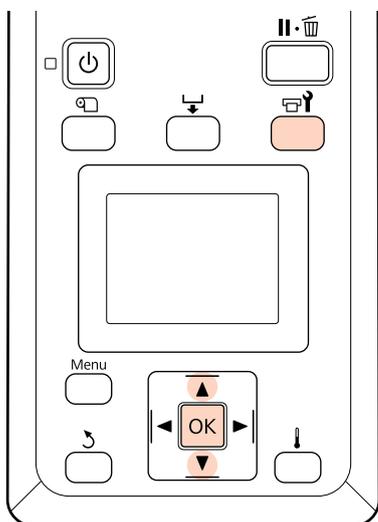
[長期保管前メンテナンス] をせずに放置すると、プリントヘッドの目詰まりが解消できなくなります。

## 事前メンテナンスの方法

### 重要

インクや洗浄液の残量が足りないと機能を実行できないことがあります。残量が残り少ないときは、念のためお手元に新品のカートリッジをご用意ください。

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認し、【】 ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【】 / 【】 ボタンを押して、[長期保管前メンテナンス] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

- 3 【全列】 を選択し、【OK】 ボタンを押します。

- 4 以降は、画面の指示に従ってカートリッジを差し替えます。

本機、および取り外した使用途中のインクカートリッジは、『ユーザーズガイド』（PDF）をご覧ください。正しく保管してください。

## 使用を再開するとき

### 重要

使用を再開するときは、本機にインクを充填します。取り外したインクカートリッジを使用して充填するときは、念のためお手元に新品のインクカートリッジをご用意ください。

電源を入れて、画面の指示に従ってください。

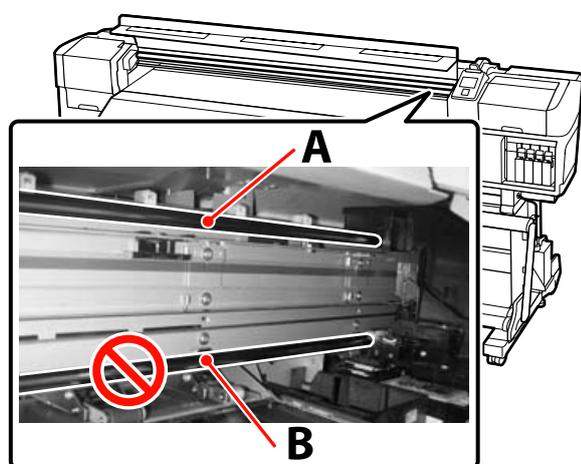
再開後、初めて印刷するときは、ノズルチェックを行って目詰まりがないことを確認してください。

📄 『ユーザーズガイド』（PDF）

## キャリッジ副軸用グリスの注油（メッセージが表示されたとき）

操作パネルの画面に「注油時期です。マニュアルを参照し専用グリスを注油してください」と表示されたときは、本機に添付の注油キットを使用して注油を行ってください。

### 注油時のご注意



**キャリッジ副軸は、A 軸です。**

作業中は、グリス注油ツールなどで B 軸（キャリッジ主軸）に触らないでください。B 軸表面のグリスを拭き取ると、本機が故障するおそれがあります。

**キャリッジ副軸用グリスは、A 軸専用です。**

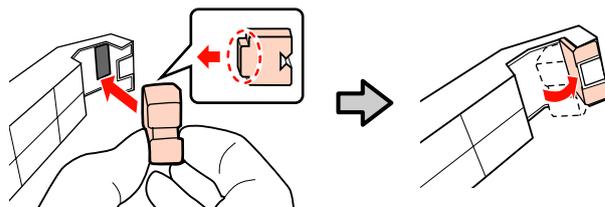
B 軸には使えません。

### 注油手順

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

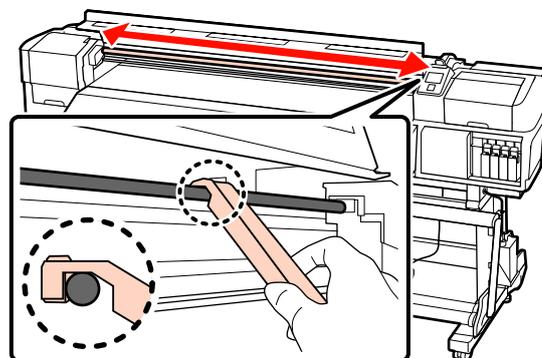
🔗 [「作業時のご注意」23 ページ](#)

- 1 グリス注油ツールの四角い穴にパッド（新品）の凸部を差し込み、しっかり押し込んで固定します。



- 2 本機の電源を切り、前面カバーを開けます。

- 3 グリス注油ツールのパッド部分をキャリッジ副軸（A 軸）の裏側にしっかりと当てて、端から端まで滑らせるように 2 往復して汚れを拭き取ります。



- 4 新品のクリーニング棒でグリス容器内を 10 回程かき混ぜて、なじませます。

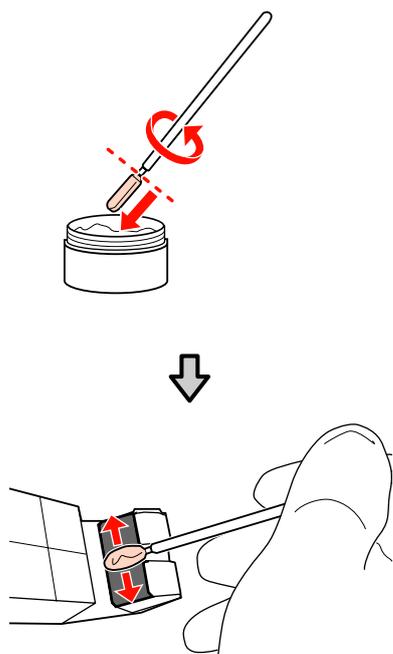
- 5 クリーニング棒の先端を容器のフチに押し付けて、余分なグリスを落とします。

#### ❗重要

余分なグリスを落とさないと、プラテン上にグリスが落ちてメディアが汚れるおそれがあります。

**6** 以下の手順で、グリス注油ツールのパッドにクリーニング棒でグリスを塗布します。

- ① クリーニング棒の先端が全て隠れるまで容器に差し入れ、2~3回転させて引き上げると適量のグリスが付きます。
- ② グリス注油ツールのパッド部分にグリスを塗布します。



**7** 手順 3 と同様にグリス注油ツールのパッド部分をキャリッジ副軸の裏側にしっかりと当てて、端から端まで滑らせるように 2 往復して注油します。

**8** 汚れたパッドを取り外したグリス注油ツールをグリスと一緒に保管します。

使用済のパッド、クリーニング棒などグリス付着物の廃棄

 [「使用済み消耗品の処分」 39 ページ](#)

## 保管時のご注意

- 使用後は、グリスに異物が入らないように必ず蓋をしてください。
- 蓋を上に向けた状態で、直射日光を避けて常温で保管してください。



# メンテナンス用品のご案内

最新の情報は、エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp>) をご覧ください。(2014年12月現在)

## インクカートリッジ\*1

プリンター型番	商品名		型番
SC-S30650	インクカートリッジ	ブラック	SC2BK70
		シアン	SC2C70
		マゼンタ	SC2M70
		イエロー	SC2Y70

\*1 プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

## メンテナンス用品

商品名	型番	備考
クリーニングカートリッジ	SC2CLL	長期保管前メンテナンス時に使用します。
メンテナンスキット	SC2MKIT	メンテナンス作業で必要となる、クリーニング棒と手袋、ワイパー、ワイパークリーナー、フラッシング用吸収材、クリーニングワイパーのセットです。
キャリッジ副軸用グリスキット	SC2GKIT	製品付属の注油キットと同等品です。
インククリーナー	SC2CLN	製品付属のインククリーナーと同等品です。
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
クリーンルーム用ワイパー	SC2CRW	製品付属のメンテナンスキットに付属のものと同等品です。

---

● **エプソンのホームページ** <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。



<http://www.epson.jp/faq/>

● **エプソンサービスコールセンター**

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

**050-3155-8600**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-5111-2949へお問い合わせください。

● **エプソンインフォメーションセンター**

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

**050-3155-8066**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

● **購入ガイドインフォメーション**

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

**050-3155-8100**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

● **ショールーム** \*詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

● **MyEPSON**

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて  
会員登録。

● **消耗品のご購入**

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料0120-545-101)でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

最新の情報はエプソンのホームページ(<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

---

**エプソン販売 株式会社**

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

**セイコーエプソン株式会社**

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(インク)2014.09